



# 歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

D e n t a l H y g i e n i s t

解答・解説・  
要点集(基礎系)

341

令和4年版出題基準による出題科目一覧

問題番号	科目
午前問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	二、歯・口腔の構造と機能
12	
13	
14	
15	
16	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	五、歯科衛生士概論
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	六、臨床歯科医学
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	七、歯科予防処置論
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	

問題番号	科目
74	七、歯科予防処置論
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	八、歯科保健指導論
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	九、歯科診療補助論
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
午後問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	二、歯・口腔の構造と機能
7	
8	
9	
10	
11	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
12	
13	
14	
15	
16	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	五、歯科衛生士概論
32	
33	
34	
35	
36	六、臨床歯科医学
37	
38	
39	
40	

問題番号	科目
37	六、臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	七、歯科予防処置論
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	八、歯科保健指導論
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	九、歯科診療補助論
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	

解答一覧表

午前問題			
問題	正解	問題	正解
1	d	56	c
2	a	57	b, d
3	b	58	c
4	a	59	c, d
5	a	60	a
6	b	61	a, d
7	c	62	a
8	b	63	a, b
9	d	64	b
10	b	65	d
11	b	66	c
12	b	67	b
13	c	68	a, d
14	a	69	a, c
15	c	70	b, d
16	c	71	b
17	b, c	72	d
18	c, d	73	a, c
19	c	74	a, b
20	a, c	75	a, b
21	b, d	76	b, d
22	a	77	c
23	c	78	b, d
24	c, d	79	a, b
25	a	80	c
26	b	81	a, c
27	a, d	82	b, c
28	a	83	b, d
29	c	84	a
30	a	85	c
31	a	86	b, d
32	d	87	c, d
33	c, d	88	a, d
34	a, c	89	c
35	b	90	a, c
36	a, c	91	c
37	a	92	d
38	b	93	a
39	a	94	a, d
40	b, c	95	b
41	b, c	96	c
42	b	97	a
43	d	98	c
44	c, d	99	c
45	a	100	a, c
46	c	101	a
47	b, c	102	a
48	a, c	103	d
49	a	104	d
50	a, c	105	a, c
51	c	106	c
52	b	107	a, c
53	c	108	d
54	c, d	109	b
55	b	110	d

午後問題			
問題	正解	問題	正解
1	a	56	b, d
2	b	57	c
3	b	58	b, d
4	b	59	a, d
5	b	60	a
6	d	61	c
7	b	62	d
8	a	63	b
9	d	64	c
10	c	65	c
11	c	66	a, b
12	a	67	d
13	d	68	a
14	c	69	a, c
15	d	70	b, d
16	c	71	c, d
17	d	72	b
18	c, d	73	a, d
19	d	74	b
20	d	75	c
21	a, d	76	d
22	b	77	a
23	a	78	a, b
24	a, d	79	a, d
25	a, b	80	d
26	a	81	a, c
27	a, b	82	a, c
28	c	83	a, b
29	a	84	c
30	a, b	85	b
31	c, d	86	c, d
32	a, c	87	b, c
33	b	88	d
34	d	89	a, b
35	d	90	a, d
36	c	91	a
37	a, c	92	c, d
38	a, b	93	c
39	d	94	d
40	c, d	95	a
41	a	96	b, c
42	b	97	b, c
43	d	98	c
44	a	99	b
45	a, c	100	d
46	a	101	a, c
47	c	102	a, b
48	c	103	a
49	d	104	b, d
50	a	105	c
51	d	106	b, c
52	b, d	107	b
53	b	108	d
54	a, c	109	a
55	b	110	c, d

# 341

午前問題…………… 解答・解説

## 本書で使用しているアイコンについて

 要点集 341:P〇〇

例) 341号掲載

「巻末資料 要点集」に関連事項が掲載されております。  
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

 DH 25:P〇〇

例) 2025年版掲載

弊社刊行「Complete+DH 歯科衛生士 国家試験完全攻略 2025年版」に掲載された関連問題です。  
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

[問題 1] エナメル質、象牙質および骨を構成する主な無機質成分を表に示す。

成分	エナメル質	象牙質	骨
①	36.0	27.0	24.5
②	17.7	13.0	10.5
③	0.50	0.30	0.70
④	0.44	1.10	0.55

(乾燥重量%)

①はどれか。1つ選べ。

- a Na
- b Mg
- c P
- d Ca

▶生理学

**選択肢考察**

- × a Na(ナトリウム)は③である。
- × b Mg(マグネシウム)は④である。
- × c P(リン)は②である。
- d Ca(カルシウム)は①である。

**正解** d

📖 要点集 341:P56

[問題 2] 下顎骨の写真(別冊午前 No. 1)を別に示す。

下顎の前方運動時に働く筋が付着するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

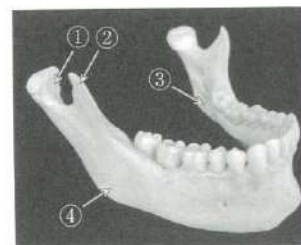
▶解剖学

**選択肢考察**

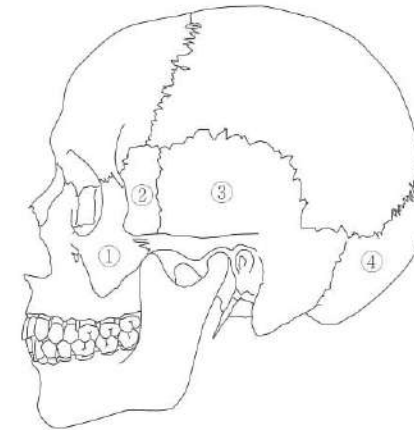
- a 下顎の前方運動時に働く筋は**外側翼突筋**で、①の**翼突筋窩**に停止する。
- × b ②は筋突起で、**側頭筋**の停止部である。
- × c ③は**翼突筋粗面**で、**内側翼突筋**の停止部である。
- × d ④は**咬筋粗面**で、**咬筋**の停止部である。

**正解** a

📖 要点集 341:P7



[問題 3] 頭蓋側面の図を示す。



蝶形骨はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

**選択肢考察**

- × a ①は**頬骨**である。
- b ②は**蝶形骨**である。
- × c ③は**側頭骨**である。
- × d ④は**後頭骨**である。

**正解** b

📖 要点集 341:P4

[問題 4] 血液凝固の最終段階で生成されるのはどれか。1つ選べ。

- a フィブリン
- b アルブミン
- c コラーゲン
- d グロブリン

▶生理学

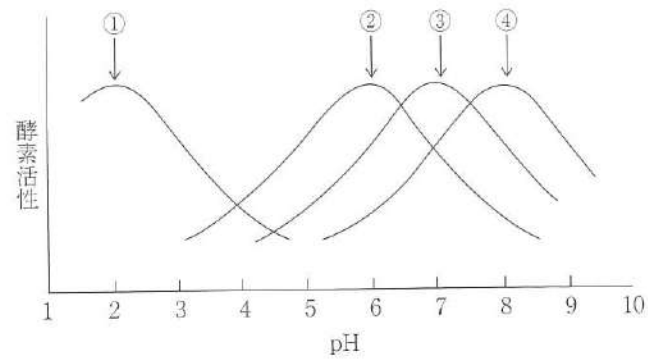
**選択肢考察**

- a 血液凝固は**プロトロンビン**が**トロンビン**に変換され、トロンビンが**フィブリノゲン**を**フィブリン**に変換することで生じる。フィブリンは血液凝固の最終段階で生成される物質で、血餅形成作用を有する。
- × b アルブミンは血漿タンパク質で血液の浸透圧の調節に関与するが、血液凝固には関与しない。
- × c コラーゲンは**結合組織**を構成するタンパク質であり、血液凝固には関与しない。
- × d グロブリンは**抗体**を構成する血漿タンパク質であるが、血液凝固には関与しない。

**正解** a

📖 要点集 341:P21

[問題 5] 消化酵素(アミラーゼ、スクラーゼ、トリプシン、ペプシン)の活性とpHの関係を示す。



ペプシンはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

- a ①はペプシンである。胃液に含まれ、タンパク質をペプチドに分解する。
- × b ②はスクラーゼである。小腸液に含まれ、スクロースをグルコースとフルクトースに分解する。
- × c ③はアミラーゼである。唾液や膵液に含まれ、デンプンをマルトースやオリゴ糖に分解する。
- × d ④はトリプシンである。膵液に含まれ、タンパク質をペプチドに分解する。

正解 a

📖 要点集 341:P50

[問題 6] コレステロールから合成されるのはどれか。1つ選べ。

- a ヒスタミン
- b ビタミンD
- c メラトニン
- d ノルアドレナリン

▶生理学

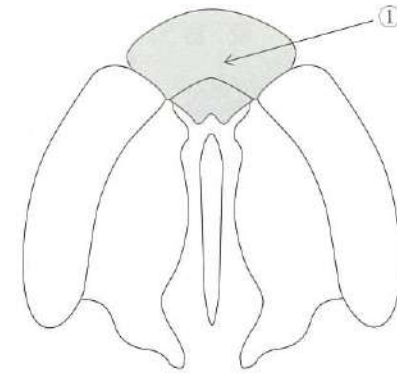
選択肢考察

- × a ヒスタミンは肥満細胞や好塩基球の顆粒に含まれ、侵害刺激により遊離されアレルギー症状を引き起こす物質で、アミノ酸であるヒスチジンから合成される。
- b ビタミンDやステロイドホルモンはコレステロールから合成される。
- × c メラトニンは松果体から分泌される生理活性アミンで、概日リズムを調節する。トリプトファンからセロトニンを経て合成される。
- × d ノルアドレナリンは交感神経末端から分泌される神経伝達物質で、チロシンから合成される。

正解 b

📖 DH 25:P49

[問題 7] 口蓋形成過程の口腔側面観の模式図を示す。



①の形成に関与するのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎突起
- b 口蓋突起
- c 内側鼻突起
- d 外側鼻突起

▶解剖学

選択肢考察

- c ①は一次口蓋で、切歯部の口蓋となる。内側鼻突起の口腔側から形成される。その後、左右の口蓋突起が鼻中隔とともに癒合し、二次口蓋を形成する。

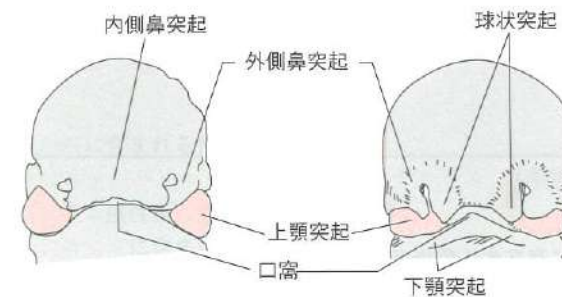
正解 c

📖 要点集 341:P11

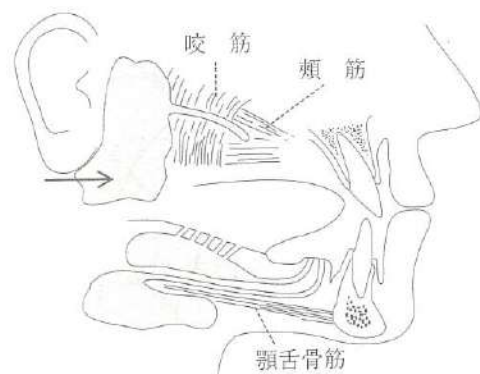
要点

● 顔面の発生

前頭鼻突起	外側鼻突起	鼻翼
	内側鼻突起(球状突起)	鼻の正中部、人中、上顎4前歯、一次口蓋
上顎突起	上唇、頬部、上顎骨、上顎犬歯～大白歯部、二次口蓋	
下顎突起	下唇、下顎骨、下顎の歯	



[問題 8] 大唾液腺を模式図に示す。



矢印で示す腺を支配しているのはどれか。1つ選べ。

- a 顔面神経
- b 舌咽神経
- c 迷走神経
- d 舌下神経

▶解剖学

選択肢考察

- × a 顔面神経は顎下腺および舌下腺を支配する。
- b 矢印で示すのは耳下腺である。舌咽神経は耳下腺や舌後方1/3の味覚および知覚を支配する。
- × c 迷走神経は喉頭の筋と咽頭下部の筋の運動、頸・胸・腹部内臓の副交感神経性支配、喉頭蓋の味覚などを支配する。
- × d 舌下神経は舌筋の運動を支配する。

正解 b

📖 要点集 341:P10

[問題 9] 唾液に最も多く含まれる免疫グロブリンはどれか。1つ選べ。

- a IgE
- b IgG
- c IgM
- d sIgA

▶微生物学

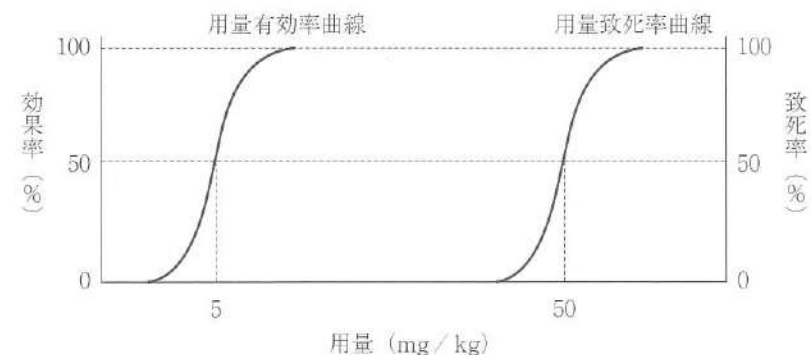
選択肢考察

- × a IgE は血清中に微量に存在する免疫グロブリンである。
- × b IgG は血清中に最も多く含まれる免疫グロブリンである。
- × c IgM は血清中の免疫グロブリンの約10%を占める。
- d sIgA は唾液、母乳、涙などの分泌液中に多く含まれる免疫グロブリンである。

正解 d

📖 要点集 341:P30

[問題 10] ある薬物の用量有効率曲線と用量致死率曲線を図に示す。用量を対数で表示する。



この薬物の治療係数はどれか。1つ選べ。

- a 0.1
- b 10
- c 45
- d 250

▶薬理学

選択肢考察

- b  $LD_{50}$  (50%致死量) と  $ED_{50}$  (50%有効量) の比 ( $LD_{50}/ED_{50}$ ) を治療係数といい、薬物の相対的な安全性を評価する目安となる。治療係数は値が大きほど安全性が高い。図より  $ED_{50}=5$ 、 $LD_{50}=50$  であるため、 $LD_{50}/ED_{50}=10$  と求められる。

正解 b

📖 要点集 341:P60

[問題 11] グラム染色法で用いる染色液はどれか。1つ選べ。

- a フロキシシン
- b サフラニン
- c アシッドレッド
- d ヨードヨウ化カリウム

▶微生物学

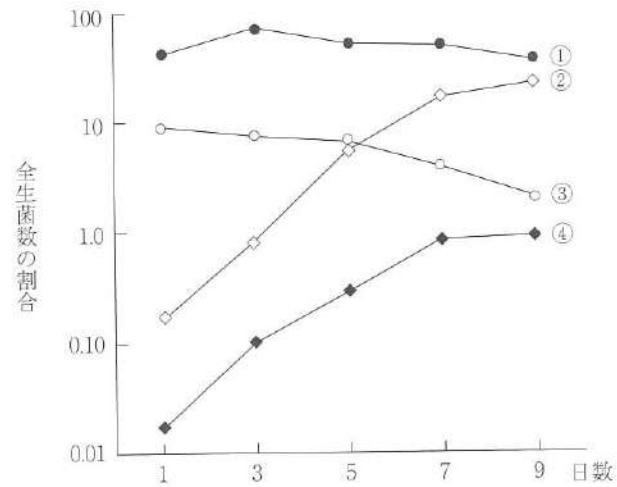
選択肢考察

- × a フロキシシンは菌垢染色剤に含まれる色素である。
- b グラム染色法にはクリスタルバイオレット (青紫色) とサフラニン (赤紫色) が用いられる。グラム陽性菌は青紫色に、グラム陰性菌は赤紫色に染色される。
- × c アシッドレッドはう蝕検知液に含まれる色素である。
- × d ヨードヨウ化カリウムはグラム染色におけるルゴール処理に用いられる。

正解 b

📖 DH 25:P86

[問題 12] 歯肉縁上プラーク細菌種 (*Actinomyces*、*Fusobacterium*、*Neisseria*、*Streptococcus*) の経時的变化の図を示す。



④ はどれか。1つ選べ。

- a *Actinomyces*
- b *Fusobacterium*
- c *Neisseria*
- d *Streptococcus*

▶微生物学

**選択肢考察**

- × a、○ b *Actinomyces* は ②、*Fusobacterium* は ④ である。どちらも嫌気性菌のため、プラークの成熟とともに増加する。
- × c *Neisseria* は ③ である。好気性菌のためプラークの成熟とともに減少する。
- × d *Streptococcus* は ① である。プラークの中で常に優位な菌である。

**正解** b

📖 要点集 341:P40

[問題 13] 白歯の辺縁隆線部にみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 白後結節
- b 中心結節
- c 介在結節
- d カラベリー結節

▶病理学

**選択肢考察**

- × a 白後結節は上下顎第三大臼歯の遠心面にみられる異常結節である。
- × b 中心結節は小白歯の咬合面中央、特に下顎第二小臼歯にみられる、円錐状または棒状の過剰結節である。破折により歯髄炎を併発することがある。
- c 介在結節は上顎小白歯および大臼歯咬合面の辺縁隆線が肥厚して結節状を呈したものである。上顎第一小臼歯近心に高頻度で出現する。
- × d カラベリー結節は上顎大臼歯近心舌側咬頭舌側面に生じる副結節である。

**正解** c

📖 要点集 341:P46

[問題 14] 上皮性腫瘍はどれか。1つ選べ。

- a 乳頭腫
- b 線維腫
- c 血管腫
- d 脂肪腫

▶病理学

**選択肢考察**

- a 上皮性腫瘍は身体の表面を覆う皮膚や消化管粘膜、肝臓などの上皮細胞から発生するものをいう。上皮性腫瘍には乳頭腫、腺腫、肝細胞腺腫などがある。
- × b、× c、× d 線維腫、血管腫、脂肪腫は非上皮性腫瘍である。

**正解** a

📖 要点集 341:P47

[問題 15] 肝臓における薬物代謝の第2相反応はどれか。1つ選べ。

- a 酸化
- b 還元
- c 抱合
- d 加水分解

▶薬理学

## 選択肢考察

- × a、× b、× d 肝臓における代謝過程は2相に分類され、酸化、還元、加水分解反応による薬物代謝を第1相反応という。
- c 第1相反応を受けた薬物は第2相反応で抱合が起こり、不活性化され水溶性を増して尿中に排泄される。

正解 c

📖 要点集 341:P62

[問題 16] ヘルスプロモーション活動はどれか。1つ選べ。

- a 介護施設の拡充
- b がん検診の実施
- c ウォーキングイベントの開催
- d 摂食・嚥下リハビリテーションの実施

▶衛生学・公衆衛生学

## 選択肢考察

- c ヘルスプロモーションは世界保健機関(WHO)が1986年のオタワ憲章で提唱した、人々の健康の維持・増進のための活動・戦略である。WHOが「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」とした定義はその後、2005年のバンコク憲章で「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と変更された。ヘルスプロモーションで最も重要なのは「主役は住民」であり、健康づくりは人々の生活の場で行うということである。

正解 c

📖 DH25:P172、207

[問題 17] フッ化物歯面塗布法に用いるフッ化物はどれか。2つ選べ。

- a フッ化水素酸
- b フッ化第一スズ
- c フッ化ナトリウム
- d モノフルオロリン酸ナトリウム

▶口腔衛生学

## 選択肢考察

- × a フッ化水素酸は技工操作で用いるもので、口腔内で使用してはならない。
- b 4%および8%フッ化第一スズ溶液は歯面塗布に用いる。
- c 2%フッ化ナトリウム溶液は歯面塗布に用いる。
- × d モノフルオロリン酸ナトリウムは1,500ppmFを上限として歯磨剤に配合される。

正解 b、c

📖 DH25:P665

[問題 18] 唾液の成分とその機能の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ムチン —— 酸の中和作用
- b シスタチン —— 再石灰化作用
- c ヒスタチン —— 抗真菌作用
- d リゾチーム —— ペプチドグリカンの分解

▶口腔衛生学

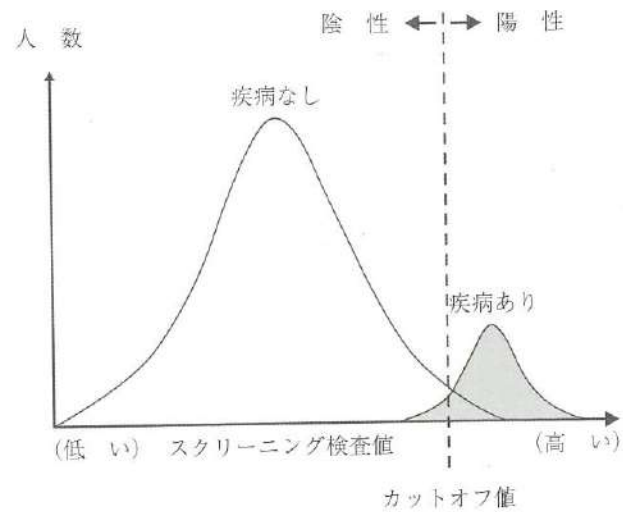
## 選択肢考察

- × a 唾液には酸またはアルカリを中和する働きがあり、重炭酸塩やリン酸塩がその役割を担う。ムチンは潤滑作用や歯質保護作用を有する。
- × b シスタチンはシステインプロテアーゼインヒビターで、唾液中に含まれる非酵素性抗菌物質の1つで抗菌作用や粘膜保護作用を有する。再石灰化にはスタチンが関与する。
- c ヒスタチンは高ヒスチジンペプチドで、カンジダ類の細胞膜に結合して抗真菌作用を示す。
- d リゾチームは細菌細胞壁のペプチドグリカンを加水分解する酵素性抗菌物質である。

正解 c、d

📖 DH25:P121

[問題 19] 疾病の有無とスクリーニング検査値の分布の関係を図に示す。



カットオフ値を高く設定したときの数値の変化の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- |       |     |
|-------|-----|
| 感 度   | 特異度 |
| a 上がる | 上がる |
| b 上がる | 下がる |
| c 下がる | 上がる |
| d 下がる | 下がる |

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- c カットオフ値を高くすると、疾病ありの群では検査値がカットオフ値より高い人(真陽性)の人数が減るため、感度(真陽性率)は下がる。疾病なしの群では検査値がカットオフ値より低い人(真陰性)の人数が増えるため、特異度(真陰性率)は上がる。

正 解 c

DH 25:P 237

要 点

●スクリーニング検査における感度と特異度

感 度 = $\frac{\text{真陽性}}{\text{真陽性} + \text{偽陰性}}$ = 真陽性率	疾病ありの者を正しく陽性と判定する指標
特異度 = $\frac{\text{真陰性}}{\text{偽陽性} + \text{真陰性}}$ = 真陰性率	疾病なしの者を正しく陰性と判定する指標

[問題 20] 歯磨剤の薬用成分と効能との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a トラネキサム酸 ————— 歯周病予防
- b 乳酸アルミニウム ————— う蝕予防
- c ポリリン酸ナトリウム ————— 歯石の沈着予防
- d 塩化セチルピリジニウム ——— 象牙質知覚過敏対策

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a トラネキサム酸は抗炎症作用や止血作用をもつ薬用成分であり、歯周病予防の効能をもつ。
- ×b 乳酸アルミニウムは知覚過敏症に効果がある。
- c ポリリン酸ナトリウムには歯石形成抑制作用があり、歯石の沈着を予防する。
- ×d 塩化セチルピリジニウムには殺菌作用があり、う蝕や歯肉炎、口臭の予防の効能をもつ。

正 解 a, c

DH 25:P 131

[問題 21] 歯科衛生士法の一部を示す。

業務に従事する歯科衛生士は、厚生労働省令で定める①3年ごとの年の②12月31日現在における氏名、住所その他厚生労働省令で定める事項を、当該年の翌年③1月31日までに、その就業地の④都道府県知事に届け出なければならない。

下線部で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶衛生学・公衆衛生学

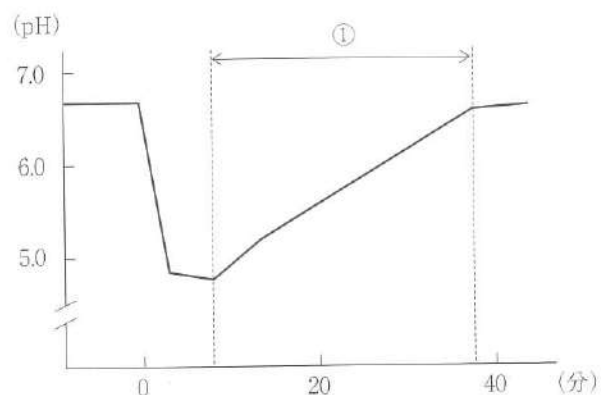
選択肢考察

- b、d 業務に従事する歯科衛生士は、厚生労働省令で定める①2年ごとの年の②12月31日現在における氏名、住所その他厚生労働省令で定める事項を、当該年の翌年③1月15日までに、その就業地の④都道府県知事に届け出なければならない。

正 解 b, d

DH 25:P 184

[問題 22] ステファンカーブの図を示す。



①の変化に関わる唾液の作用はどれか。1つ選べ。

- a 緩衝
- b 抗菌
- c 潤滑
- d 再石灰化

▶口腔衛生学

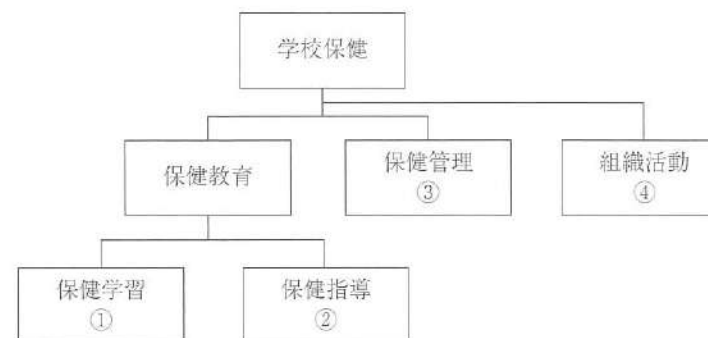
選択肢考察

- a ステファンカーブは「10%ブドウ糖溶液でうがいした場合のプラーク中のpHの変動」を図示したものである。うがい後にはプラーク中で酸が産生されpHが低下するが、約20分後には唾液中の重炭酸塩やリン酸塩がもつ緩衝作用により臨界pH以上に回復し、40～50分後には中性付近のpHまで回復する。
- × b pHの回復は細菌が死滅したために起こるものではない。唾液の抗菌作用はsIgA、ラクトフェリン、リゾチーム、ヒスタチン、ペルオキシダーゼが担う。
- × c 唾液の潤滑作用とは咀嚼、嚥下、発音などを円滑に行うために必要な作用であり、pHの変動とは関係ない。潤滑作用は糖タンパク質(ムチン)や水分が担う。
- × d プラーク中のpH変動は再石灰化によるものではない。再石灰化には、唾液中のスタテリンが関与する。

正解 a

DH 25:P115

[問題 23] 学校保健の領域構造の一部を図に示す。



定期健康診断が該当するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 保健学習は学習指導要領に基づき、学級担任や養護教諭などにより各教科において実施される。
- × b 保健指導は教科以外の学級活動やホームルーム活動などにおいて実施される。学校医や学校歯科医、歯科衛生士が担当する保健指導はこれに該当する。
- c 学校保健は保健教育、保健管理、組織活動の3領域から成る。保健管理は対人管理と対物管理に分けられ、対人管理には心身の管理(健康診断、健康相談、疾病予防、救急措置など)、生活の管理(学校生活の管理、家庭や地域での生活状況の把握と指導)がある。対物管理は学校環境の管理で、学校環境の衛生管理や、学校環境の美化・整備などが該当する。定期健康診断は保健管理に含まれ、養護教諭による保健相談や保健指導が行われる。
- × d 組織活動は保健教育と保健管理を協調的・効果的に運用するための教職員、家庭、地域の連携による活動であるPTA活動や校内研修、学校医などとの連携、学校保健委員会、地域学校保健委員会などが該当する。

正解 c

DH 25:P195

[問題 24] 歯ブラシの脇腹を使うブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c ローリング法
- d チャーターズ法

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a、× b バス法、フォーンズ法は歯ブラシの毛先を主に使うブラッシング法である。
- c、○ d ローリング法、チャーターズ法は歯ブラシの脇腹を主に使うブラッシング法である。

正解 c、d

DH 25:P698

【問題 25】 BCG ワクチンの対象疾病どれか。1つ選べ。

- a 結核
- b 帯状疱疹
- c 日本脳炎
- d COVID-19

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a BCG ワクチンは結核に対する生ワクチンである。

正解 a

📖 要点集 341:P29

【問題 26】 医療法で定められている医療提供施設はどれか。1つ選べ。

- a 軽費老人ホーム
- b 介護老人保健施設
- c 特別養護老人ホーム
- d 口腔保健支援センター

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 軽費老人ホームとは無料または低額な料金で老人を入所させ、食事提供など日常生活に必要な便宜を供与することを目的とする施設（老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホームを除く）である。医療提供施設ではない。
- b 介護保険法の規定による介護老人保健施設は、病状安定期にあり入院治療をする必要はないが、リハビリテーションや看護・介護を必要とする要介護者が利用対象者となる施設である。常勤医師（1人以上）の配置が義務づけられる。介護保険法の介護保険施設であり、医療法の医療提供施設でもある。
- × c 特別養護老人ホームとは65歳以上であって常時の介護が必要であり、かつ居宅においてこれを受けることが困難であり、やむを得ない事由により介護保険法に規定する介護老人福祉施設に入所することが著しく困難である者、または介護福祉施設サービスに係る施設介護サービス費の支給に係る者などを入所させ、養護することを目的とする施設である。老人福祉法で規定される。医療提供施設ではない。
- × d 口腔保健支援センターは歯科口腔保健法で規定され、都道府県、保健所を設置する市および特別区が設置することができる。医療提供施設ではない。

正解 b

📖 DH25:P204

【問題 27】 国勢調査で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 全数調査である。
- b 一般統計調査である。
- c 人口動態統計である。
- d 5年ごとに実施される。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 国勢調査は全数調査である。10月1日時点でのわが国に居住する全国民が対象となる。
- × b 国家や公的機関が作成する統計を公的統計という。公的統計のうち、行政機関が作成し総務大臣が重要と指定した統計を基幹統計、それ以外を一般統計という。国勢調査は基幹統計調査である。
- × c 国勢調査は調査年の10月1日現在の人口調査であるため、人口動態統計ではなく人口静態統計である。
- d 国勢調査は5年ごとに実施される。

正解 a, d

📖 DH25:P222

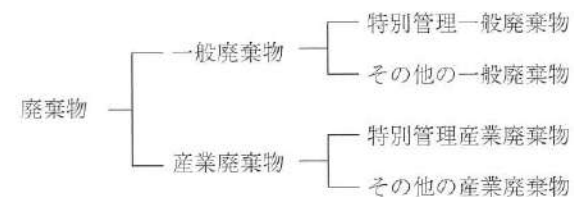
【問題 28】 歯科医療施設から排出される特別管理一般廃棄物はどれか。1つ選べ。

- a 抜去歯
- b 作業用模型
- c 使用済注射針
- d 血液付着ゴム手袋

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 【医療機関から生じる廃棄物の区分】



【歯科医療施設から排出される主な廃棄物】

一般廃棄物		産業廃棄物	
特別管理一般廃棄物 (感染性一般廃棄物等)	その他の一般廃棄物	特別管理産業廃棄物 (感染性産業廃棄物)	その他の産業廃棄物
血液付着物(ガーゼ、 脱脂綿、抜去歯)	血液非付着物(ガーゼ、 脱脂綿)、紙類	使用済み注射針 血液付着物(プラスチック 類、ガラス類、ゴム手袋)	石膏模型、印象材、 エックス線写真定着液、 エックス線写真現像液、 有機溶剤、バー類

正解 a

📖 DH25:P170

【問題 29】 GI (Gingival Index) と検査対象歯が同一なのはどれか。1つ選べ。

- a OHI-S (Oral Hygiene Index - Simplified)
- b PI (Periodontal Index)
- c P I (Plaque Index)
- d PHP (Patient Hygiene Performance)

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a OHI-S (Oral Hygiene Index - Simplified) は OHI を簡略化したもので、特定の歯面に付着しているプラークと歯石の付着・沈着面積を観察し、**口腔衛生状態**を評価する。対象歯は  $\frac{6\ 1}{6}\ \frac{6}{1\ 6}$  の6歯で、 $\frac{6\ 1}{1}$  は唇(頬)側のみを  $\frac{6}{6}$  は舌側のみを観察する。
- × b PI (歯周疾患指数; Periodontal Index) は、**歯周炎の進行度**を評価する。対象歯は第三大臼歯を含む全歯の歯周組織を観察する。
- c P I (Plaque Index) は口腔清掃状態の指標で、歯肉辺縁に接する部位の**プラーク付着量**を評価する。対象歯は GI と同じ  $\frac{6\ 2}{4}\ \frac{4}{2\ 6}$  で、4歯面の歯頸部を観察する。
- × d PHP (口腔清掃実行度; Patient Hygiene Performance) は**口腔清掃状態の指標**で、歯面を5分割(近遠心的に2区分、中央部を3区分した計5区分)し、歯垢染色剤で染色された部位をそれぞれ1点として最高5点で評価する。検査対象歯は OHI-S と同一部位の、 $\frac{6\ 1}{6}\ \frac{6}{1\ 6}$  の6歯で、 $\frac{6\ 1}{1}$  は唇頬側のみを  $\frac{6}{6}$  は舌側のみを観察する。

正解 c

DH25:P682

要点

GI (歯肉炎症指数; Gingival Index) は歯周疾患の指数で、歯肉炎の広がりや程度と炎症の強さを同時に評価する。対象歯は  $\frac{6\ 2}{4}\ \frac{4}{2\ 6}$  で、4歯面(頬(唇)側、舌(口蓋)側、近心、遠心)の炎症を評価する。

判定基準

スコア	判定基準
0	正常な歯肉: ステップリングがみられる。
1	軽度の歯肉炎: わずかな色調の変化および組織の変調がある。 プロービングで出血しない。
2	中程度の歯肉炎: 発赤、浮腫、腫脹、光沢化、プロービングによる出血がある。
3	高度の歯肉炎: 著明な発赤、腫脹がみられ、自然出血傾向と明らかな炎症が認められる。

計算方法

$$1 \text{ 歯あたりの GI} = \frac{4 \text{ 部位のスコアを合計}}{4}$$

$$\text{個人の GI} = \frac{1 \text{ 歯あたりの GI の合計}}{\text{被検歯数}}$$

$$\text{集団の GI} = \frac{\text{個人の GI の合計}}{\text{被検者数}}$$

【問題 30】 地域包括ケアシステムの推進に関する根拠法はどれか。1つ選べ。

- a 介護保険法
- b 社会福祉法
- c 生活保護法
- d 地域保健法

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 介護保険法では、地域包括ケアシステムに係る理念規定として「国及び地方公共団体は、被保険者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、保険給付に係る保健医療サービス及び福祉サービスに関する施策、要介護状態等となることの子供又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止のための施策並びに地域における自立した日常生活の支援のための施策を、医療及び居住に関する施策との有機的な連携を図りつつ包括的に推進するよう努めなければならない」とされている。
- × b 社会福祉法は、福祉サービスの利用者の利益の保護、地域における社会福祉の推進を図るとともに、社会福祉事業の公明適切な実施の確保、社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図り、もって社会福祉の増進に資することを目的とした法律である。
- × c 生活保護法は、国が生活に困窮するすべての国民に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする法律である。
- × d 地域保健法は地域保健対策の推進に関する基本指針、保健所の設置その他地域保健対策の推進に関し基本となる事項を定めることにより、母子保健法その他の地域保健対策に関する法律による対策が地域において総合的に推進されることを確保し、地域住民の健康の保持及び増進に寄与することを目的とする法律である。

正解 a

DH25:P199

【問題 31】 歯科診療所において院内感染対策を定めているのはどれか。1つ選べ。

- a 医療法
- b 歯科医師法
- c 健康増進法
- d 地域保健法

▶歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 医療法は医療機関に医療安全管理体制を義務づけており、院内感染対策のための体制の確保を定めている。
- × b 歯科医師法は歯科医師の法的義務を定めている。
- × c 健康増進法は市町村による健康増進事業の実施を定めている。
- × d 地域保健法は**保健所**や**市町村保健センター**の設置を定めている。

正解 a

DH25:P181

[問題 32] プライマリーヘルスケアを謳っているのはどれか。1つ選べ。

- a オタワ憲章
- b ヘルシンキ宣言
- c ジュネーブ宣言
- d アルマアタ宣言

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a オタワ憲章はヘルスプロモーションを定義したものである。
- × b ヘルシンキ宣言は、人間を対象とする医学研究にかかわる医師および研究者に対する指針を示す倫理的原則である。
- × c ジュネーブ宣言は現代版ヒポクラテスの誓いともいわれる、医師の倫理についての宣言である。
- d プライマリーヘルスケア (PHC) は世界保健機関 (WHO) と国連児童基金 (UNICEF) が共催した、1978年の国際会議におけるアルマアタ宣言によって定義づけられた。

正解 d

DH 25:P 207

[問題 33] クリニカルパスの目的はどれか。2つ選べ。

- a 疾患の早期発見
- b 院内感染の防止
- c 医療の質の標準化
- d チーム医療の推進

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- c、d クリニカルパスとは病気の治療上必要な検査やケアなどを縦軸に、時間軸 (日付) を横軸に取って作成した診療スケジュール表である。病気の治療内容とスケジュールを明確にすることで、医療の質の標準化やチーム医療の推進につながり、患者の不安解消に役立つ。

正解 c、d

DH 25:P 780

[問題 34] 患者からの情報収集で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 主訴 —— 患者の具体的な来院動機
- b 現症 —— 家族および近親者の現在の健康状態
- c 既往歴 —— 過去における疾患およびそれに対する治療状況
- d 現病歴 —— 現在の口腔内疾患の診査所見

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 主訴は患者の訴える痛みや不快事項で、具体的な来院動機である。
- × b 現症は情報聴取時点における患者の症状である。家族および近親者の健康状態は家族歴である。
- c 既往歴は過去における健康状態で、これまでに罹った疾患 (現在治療中のものを含む) やそれに対する治療状況を指す。
- × d 現病歴は症状の始まりから現時点の主訴までの経過である。

正解 a、c

DH 25:P 761

[問題 35] 放射線感受性が最も高いのはどれか。1つ選べ。

- a 筋
- b 骨髄
- c 神経
- d 唾液腺

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a 筋の放射線感受性は低い。
- b 骨髄の放射線感受性は最も高い。一般的に、細胞分裂頻度の高い組織ほど放射線感受性が高いと考えられ、リンパ組織や造血組織 (骨髄) は最も高い。
- × c 神経の放射線感受性は最も低い。
- × d 唾液腺の放射線感受性は中等度である。

正解 b

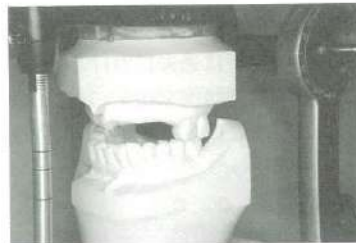
DH 25:P 260

【問題 36】 咬合器に装着した研究用模型の写真(別冊午前 No. 2)を別に示す。診査できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯列の状態
- b 歯根の吸収状態
- c 顎堤や小帯の状態
- d 歯周ポケットの深さ

▶臨床歯科総論

No. 2



## 選択肢考察

- a、○ c 研究用模型は治療計画立案などに用いる石膏模型である。上下顎の咬合関係、歯列の状態、個々の歯の状態、歯周組織の状態、顎堤や小帯の状態などを診査できる。
- × b 歯根の吸収状態はエックス線画像で診査する。
- × d 歯周ポケットの深さは歯周プローブを用いて診査する。

正解 a、c

DH 25:P 375

【問題 37】 ある機器の写真(別冊午前 No. 3)を別に示す。

評価できるのはどれか。1つ選べ。

- a 根管長
- b 歯髄の生死
- c 歯の動揺度
- d 不顕性う蝕

▶臨床歯科総論

No. 3



## 選択肢考察

- a 写真は電氣的根管長測定器である。根管内にファイルを挿入する際の電気抵抗値を利用して根管長を測定する。
- × b 歯髄の生死は歯髄電気診断器や温度診で評価する。
- × c 歯の動揺度の評価には歯科用ピンセットを用いる。
- × d 不顕性う蝕の評価にはレーザー蛍光強度測定を用いる。

正解 a

DH 25:P 304

【問題 38】 28歳の女性。上顎右側中切歯の変色を主訴として来院した。数年前から徐々に変色してきたという。歯髄電気診に反応しない。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 4)を別に示す。

変色の原因で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 喫煙
- b 歯髄壊死
- c フッ素症
- d テトラサイクリン服用

▶保存修復学

No. 4



## 選択肢考察

- × a 喫煙による着色は中切歯歯頸部に部分的にみられることはない。
- b 写真から 1) 歯頸部の変色のみがみられる。歯髄の壊死では当該歯の変色のみがみられる。
- × c フッ素症は変色の原因となるが、単独の歯にみられることはない。
- × d テトラサイクリン系抗菌薬による歯の変色は単独の歯にみられることはない。

正解 b

DH 25:P 299

【問題 39】 56歳の女性。下顎右側側切歯の動揺を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 5 A)とエックス線画像(別冊午前 No. 5 B)を別に示す。検査の結果、咬合調整を行うことになった。

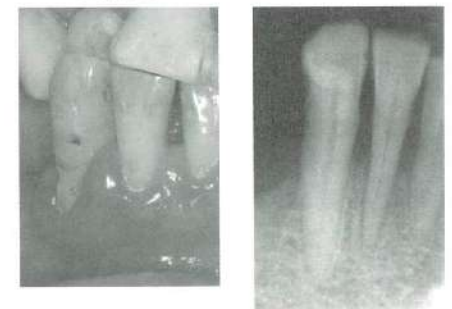
咬合調整を行う根拠となるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯の動揺
- b 歯肉の炎症
- c 歯周ポケットの存在
- d 歯肉縁下歯石の存在

▶歯周治療学

No. 5 A

B



## 選択肢考察

- a 2) に動揺があり、エックス線画像では歯根膜腔の拡大を認める。咬合性外傷と考えられるため、歯周基本治療において咬合調整を行い、歯の動揺や歯周組織への傷害の改善を期待する。
- × b、× c、× d 歯肉の炎症、歯周ポケット、歯肉縁下歯石の存在は咬合調整を行う根拠とはならない。

正解 a

DH 25:P 312

[問題 40] 42歳の女性。上顎右側側切歯の根尖部腫脹を訴えて来院した。検査の結果、2]に対して根尖切除を実施することになった。初診時のエックス線画像(別冊午前 No. 6 A)と処置中の口腔内写真(別冊午前 No. 6 B)を別に示す。

この術式の目的はどれか。2つ選べ。

- a 冠部歯髄の除去
- b 補綴装置の保存
- c 歯根尖の感染源除去
- d 垂直加圧による根管充填

選択肢考察

- × a エックス線画像より支台築造があり冠部歯髄はない。
- b、○ c 写真から 2]に陶材焼付冠が装着されていると考えられる。根尖切除は、除去が難しい補綴装置が装着されていて通常の根管治療ができない場合などに、根尖部の感染源や炎症性の肉芽組織を除去する目的で行う。
- × d 病変を搔爬した後は根尖側から根管充填を行う(逆根管充填)。

正解 b、c

▶ 歯内療法学

No. 6 A



B



DH 25:P 324

[問題 41] 根面被覆を目的とする歯周外科処置はどれか。2つ選べ。

- a フラップ手術
- b 遊離歯肉移植術
- c 歯肉弁側方移動術
- d 歯肉弁根尖側移動術

選択肢考察

- × a フラップ手術の目的は歯周ポケットの減少である。
- b 遊離歯肉移植術の目的は根面被覆や付着歯肉幅の増大である。
- c 歯周形成手術の中で、有茎弁移動術は歯肉弁側方移動術、歯肉弁歯冠側移動術、歯肉弁根尖側移動術である。そのうち根面被覆を目的とするものは歯肉弁側方移動術と歯肉弁歯冠側移動術である。
- × d 歯肉弁根尖側移動術の目的は歯周ポケットの除去と付着歯肉幅の増大である。

正解 b、c

▶ 歯周治療学

DH 25:P 352

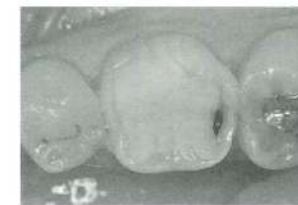
[問題 42] 59歳の男性。下顎右側第一大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、光重合型コンポジットレジンにて直接修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 7 A)、窩洞形成終了後の口腔内写真(別冊午前 No. 7 B)、接着処理を行った後の修復操作中の口腔内写真(別冊午前 No. 7 C)及び修復操作後の口腔内写真(別冊午前 No. 7 D)を別に示す。

この充填法はどれか。1つ選べ。

- a 積層印象法
- b 積層充填法
- c 垂直加圧充填法
- d 側方加圧充填法

▶ 保存修復学

No. 7 A



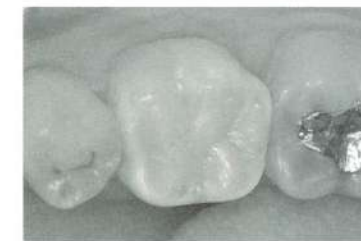
B



C



D



選択肢考察

- × a 積層印象法とは、間接修復で用いる連合印象法を指す。
- b 光重合型コンポジットレジンに深い窩洞に充填する場合、照射光が到達しない場所では十分に重合できないことがあるため、2~3mmごとに成形と照射を繰り返す積層充填法を用いる。重合収縮により生じる隙間(コントラクションギャップ)の発生リスク軽減にもつながる。
- × c 垂直加圧充填法は根管充填法の1つで、根管用プラグーを用いてガッタパーチャ材を根尖方向に圧接する方法である。
- × d 側方加圧充填法は根管充填法の1つで、スプレッターを用いてガッタパーチャポイントの圧接と挿入を繰り返す方法である。

正解 b

DH 25:P 294

【問題 43】 34歳の男性。歯肉の疼痛を訴えて来院した。3日前から歯肉に強い自発痛と接触痛を感じているという。現症として38.2℃の発熱と強い口臭を示した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 8)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 薬物性歯肉増殖症
- b 慢性剥離性歯肉炎
- c アレルギー性歯肉炎
- d 壊死性潰瘍性歯周炎

▶歯周治療学

No. 8



選択肢考察

- × a 薬物性歯肉増殖症は、抗てんかん薬(フェニトイン)、カルシウム拮抗薬(ニフェジピン)、免疫抑制薬(シクロスポリン)を服用している患者にみられるもので、歯肉の線維性増殖を特徴とする。
- × b 慢性剥離性歯肉炎は、閉経後の女性にみられるもので、歯肉乳頭部歯肉の剥離を特徴とする。慢性剥離性歯肉炎では接触痛を認めるが、他の症状はみられない。
- × c アレルギー性歯肉炎は、金属修復物が原因で歯肉に発症するものである。接触痛や自発痛はみられない。
- d 歯肉に強い自発痛と接触痛があり、発熱および強い口臭を認めることから、壊死性潰瘍性歯周炎が疑われる。壊死性潰瘍性歯周炎は、疲労やストレス、喫煙などが原因で発症すると考えられており、辺縁歯肉に壊死および潰瘍を認めるもので、強い自発痛や接触痛、口臭、発熱、灰白色の偽膜形成などを呈する。

正解 d

📖 要点集 341:P42

【問題 44】 根面う蝕のリスクを高めるのはどれか。2つ選べ。

- a C型肝炎
- b 脂質異常症
- c シェーグレン症候群
- d 頭頸部腫瘍の放射線治療

▶保存修復学

選択肢考察

- × a C型肝炎はHCV感染によって発症するが、唾液分泌量が低下することはない。
- × b 脂質異常症は血液中に含まれる脂質が過剰、もしくは不足している状態であるが、唾液分泌量が低下することはない。
- c 根面う蝕は、歯周疾患や誤ったブラッシングによる歯肉退縮で露出した根面に生じるう蝕である。根面う蝕に限らず、う蝕発生の要因の1つに唾液分泌量の減少がある。シェーグレン症候群は自己免疫疾患の一種であり、涙分泌や唾液分泌などが障害される。唾液分泌の障害により口腔乾燥を呈し、う蝕が誘発されやすくなる。
- d 頭頸部腫瘍の放射線治療では唾液腺が被曝し、唾液分泌障害を引き起こす。これによって口腔乾燥を呈し、う蝕発生の要因となる。

正解 c、d

📖 DH 25:P 283

【問題 45】 46歳の男性。下顎右側第二小臼歯の歯冠が折れたことを主訴として来院した。慢性根尖性歯周炎と診断され、感染根管治療を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 9 A)と感染根管治療開始直前の口腔内写真(別冊午前 No. 9 B)を別に示す。

感染根管治療開始前に患歯に施された処置はどれか。1つ選べ。

- a 隔壁の形成
- b 歯肉の圧排
- c 咬合の確保
- d 暫間被覆冠の装着

▶歯内療法学

No. 9 A



B



選択肢考察

- a 初診時の口腔内写真から、患歯の歯冠崩壊が著しいことがわかる。感染根管治療ではラバーダム防湿が必要であるが、歯冠崩壊が著しい場合、ラバーダムクランプの装着が困難となる。ラバーダムクランプの装着が困難な場合、コンボジットレジンを用いて隔壁を形成し、ラバーダム防湿を行う。
- × b 感染根管治療時に歯肉圧排は不要である。歯肉圧排は支台歯形成やマージン部の印象採得時に行う。
- × c 咬合の確保は暫間被覆冠や歯冠補綴物によって行われる。
- × d 暫間被覆冠の装着は根管治療後に行う。

正解 a

📖 DH 25:P 288

[問題 46] 70歳の女性。食事困難を主訴として来院した。全部床義歯を製作することになった。義歯製作中の写真(別冊午前 No.10)を別に示す。  
この操作で確認するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合平面
- b 眼窩下点の位置
- c 水平的顎間関係
- d 垂直的顎間関係

▶ 歯科補綴学

No.10



選択肢考察

- × a 咬合平面は咬合平面設定板で確認する。
- × b 眼窩下点はフェイスボウトランスファーの基準点となる。
- c 水平的顎間関係を確認するためにゴシックアーチを描記させる。
- × d 垂直的顎間関係は各種の咬合高径測定法(顔面計測法や安静空隙利用法、発音利用法など)で記録する。咬合高径を決めた後、水平的顎間関係の記録をする。

正解 c

DH 25:P384

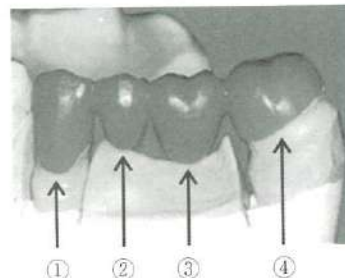
[問題 47] 30歳の男性。左側臼歯部欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、固定性ブリッジを製作することになった。作業用模型とブリッジのワックスアップの写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

最終補綴装置でポンティックになるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科補綴学

No.11



選択肢考察

- × a、× d 固定性ブリッジは支台装置、ポンティック、それらをつなぐ連結部から構成される。④が支台歯であるため、①と④は支台装置になる。
- b、○ c ②、③がポンティックになる。

正解 b、c

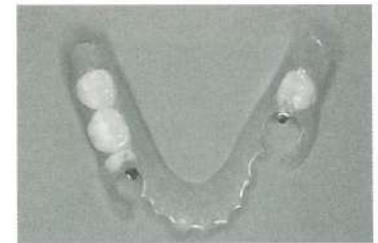
DH 25:P394

[問題 48] 義歯床の材質が異なる2種類の部分床義歯の写真(別冊午前 No.12 A、B)を別に示す。Bと比較したAの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 弾性がある。
- b レストがない。
- c 審美性に優れる。
- d 義歯床が傷つきにくい。

▶ 歯科補綴学

No.12 A



B



選択肢考察

- a、× d 写真Aはノンメタルクラスプデンチャー、写真Bはレジン床の部分床義歯である。ノンメタルクラスプデンチャーの床は弾性のある素材で非常に軽く、レジン床に比べて小さいため不快感が軽減される。一方、軟らかく傷がつきやすい素材でもある。
- × b レストはノンメタルクラスプデンチャーにも付与されている。
- c 金属製のクラスプが付与されていないため、審美性に優れる。

正解 a、c

DH 25:P388

[問題 49] 舌の褥瘡性潰瘍への対応として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 刺激除去
- b 鎮痛薬投与
- c 抗菌薬投与
- d 外科的切除

▶ 口腔外科学

選択肢考察

- a 褥瘡性潰瘍は刺激により生じる潰瘍であるため、治療は刺激の除去が最も重要である。
- × b 鎮痛薬投与は対症療法であり、褥瘡の痛みの除去には多少効果があるかもしれないが適切な対応ではない。
- × c 褥瘡性潰瘍は、細菌感染はみられないため抗菌薬の投与は不要である。
- × d 外科的切除では、新たに創や組織欠損、瘢痕を生じ、また創の痛みも生じるため適切ではない。

正解 a

DH 25:P64

【問題 50】 三叉神経痛の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 40歳以上の女性に多い。
- b 睡眠中に痛みが増悪する。
- c 片側性に痛みが発生する。
- d バレーの圧痛点に下顎孔がある。

▶口腔外科学

選択肢考察

- a 40歳以上の女性に多くみられ、1日から数日に一回または複数回の発作性疼痛(電撃様疼痛)がみられる。
- × b 睡眠中や入浴時には痛みは発生しない。
- c 痛みは片側性に発生し、正中を超えることはない。
- × d 三叉神経の顔面への出口(眼窩上孔、眼窩下孔、オトガイ孔)で圧痛がみられ、これをバレーの3圧痛点という。

正解 a, c

DH 25:P 428

【問題 51】 アフタ性潰瘍を生じるウイルス感染症はどれか。1つ選べ。

- a 類天疱瘡
- b ベーチェット病
- c ヘルパンギーナ
- d 全身性エリテマトーデス

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 類天疱瘡は、自己抗体である抗上皮基底膜抗体により上皮下水疱が生じる自己免疫疾患である。
- × b ベーチェット病は口腔にアフタ性潰瘍(再発性アフタ)を生じる疾患であるが、膠原病類縁疾患の1つで自己免疫疾患である。
- c ヘルパンギーナは小児にみられる主にA群コクサッキーウイルスによる感染症で、口峡部の水疱の形成とそれに続くアフタ性潰瘍がみられる。
- × d 全身性エリテマトーデスは自己免疫疾患で、顎顔面領域では顔面皮膚に蝶形紅斑を生じるのが特徴である。口腔内に無痛性のアフタ性口内炎(潰瘍)を形成することもあるが、ウイルス感染症ではない。

正解 c

要点集 341:P 38

【問題 52】 77歳の女性。上顎右側の腫脹を主訴として来院した。乳癌に対する薬物療法を受けているという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 水疱
- b 腐骨
- c アフタ
- d 過角化

▶口腔外科学

No.13



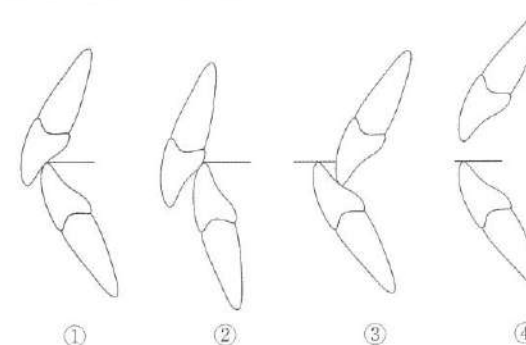
選択肢考察

- × a, × c 口腔粘膜に水疱を形成するものには単純疱疹(ヘルペス性口内炎、口唇ヘルペス)、带状疱疹、ヘルパンギーナ、手足口病、麻疹(コプリック斑)、HIV感染症(エイズ)などのウイルス性疾患、天疱瘡や類天疱瘡などがある。生じた水疱は種々の刺激で破れ、アフタやびらんを形成する。
- b 矢印は上顎右側にみられる硬組織様の病変(腐骨)である。乳癌への薬物療法(ビスフォスフォネート製剤)の影響に関連した顎骨壊死により、腐骨が生じたと考えられる。
- × d 過角化は白板症でみられる。

正解 b

DH 25:P 427

【問題 53】 上下顎前歯の被蓋状態の模式図を示す。



オーバージェットがマイナスなのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

選択肢考察

- × a ①はオーバージェットがプラスで、正常な被蓋関係である。
- × b ②はオーバージェットがプラスで、過蓋咬合である。
- c ③はオーバージェットがマイナスで、反対咬合である。
- × d ④はオーバージェットが0で、開咬である。

正解 c

DH 25:P 446

〔問題 54〕 8歳の女児。前歯の咬み合わせの異常を訴えて来院した。初診時のエックス線画像(別冊午前 No.14)を別に示す。

この検査の目的はどれか。2つ選べ。

- a 下顎偏位の検査
- b 乳歯歯根の吸収度の観察
- c 下顎骨の成長方向の判定
- d 上顎中切歯の唇舌的傾斜の評価

▶矯正歯科学

No.14



DH25:P450

選択肢考察

- × a 下顎の側方偏位は、正面頭部エックス線規格写真で確認できる。
- × b 乳歯歯根の吸収度の観察は、二等分法やパノラマエックス線撮影で確認できる。
- c 画像は側面頭部エックス線規格写真である。側面からの観察が行えるため、口唇の突出度や下顎の成長方向が確認できる。
- d 側方から観察するため、上顎中切歯の唇舌的傾斜の評価ができる。

正解 c、d

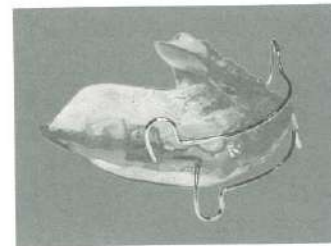
〔問題 55〕 矯正装置の写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

作用する矯正力と作用様式との組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 器械的 —— 持続的
- b 機能的 —— 間欠的
- c 器械的 —— 間欠的
- d 機能的 —— 持続的

▶矯正歯科学

No.15



DH25:P455

選択肢考察

- b 写真の装置はアクチバートルである。矯正装置には、装置がもつ器械的な矯正力による器械的矯正装置と、筋の機能力を利用する機能的矯正装置がある。機能的矯正装置には切歯斜面板や咬合斜面板、アクチバートル、バイオネーター、フレンケル装置などがある。アクチバートルは上下のレジン床を1つにしたモノブロック構造で、構成咬合位において賦活化された筋の機能力を用いて上下顎骨の位置の是正を行い、歯に矯正力を伝達するための誘導線が付加された構造である。装着時のみ機能するため、間欠的矯正力を発揮する。

正解 b

〔問題 56〕 4歳の男児。下顎左側乳白歯部の一過性の冷水痛を主訴として来院した。その他の症状は特になくという。検査の結果、下顎左側第一乳白歯の遠心隣接面に実質欠損が認められた。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.16)を別に示す。

〔D〕の処置で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a フッ化物歯面塗布
- b グラスアイオノマーセメント予防填塞
- c コンポジットレジン修復
- d 抜歯

▶小児歯科学

No.16



選択肢考察

- × a 歯質の実質欠損がみられるため、フッ化物歯面塗布は効果がない。
- × b 予防填塞は一般的にう蝕予防処置で、実質欠損には行わない。
- c 実質欠損部のコンポジットレジン修復が最も適切である。
- × d 一過性の冷水痛以外に臨床症状を示さず、歯周組織にも異常がみられないため抜歯は適切ではない。

正解 c

DH25:P292

〔問題 57〕 2歳の男児。下顎前歯の形の異常を母親が気にして来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

母親に説明すべき注意事項はどれか。2つ選べ。

- a 舌癖
- b う蝕
- c 発音障害
- d 歯の交換障害

▶小児歯科学

No.17



選択肢考察

- × a 癒合歯により舌癖が誘発されることはない。
- b 口腔内写真からB AおよびA Bに癒合がみられる。癒合歯は清掃困難で、う蝕が生じやすいため注意が必要である。
- × c 癒合歯により発音障害が起こることはない。
- d 乳歯の癒合歯では、後続永久歯の欠如がみられることが多い。

正解 b、d

DH25:P73

[問題 58] 小児の情動の分化で新生児期から備わっているのはどれか。1つ選べ。  
 a 愛情  
 b 恐怖  
 c 興奮  
 d 心配

▶小児歯科学

選択肢考察

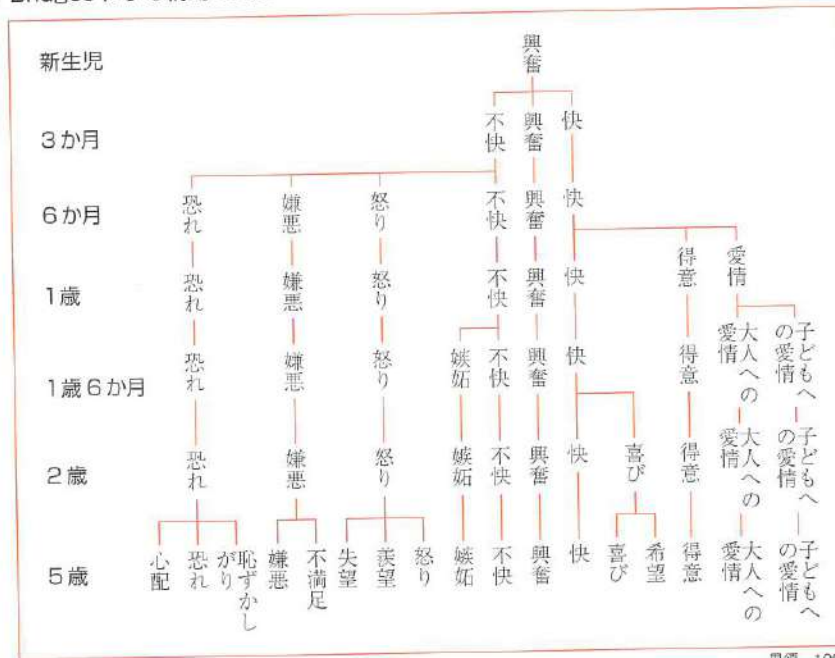
- × a 1歳になると愛情、得意が分化する。
- × b 恐怖は6か月頃に分化する。
- c 興奮は出生直後から備わっている。生後3か月には快・不快が分化し、漠然とした安心感、不安感をもつ。
- × d 心配は5歳頃に分化する。

正解 c

DH25:P464

要点

● Bridgesによる情動の発達



黒須, 1994

[問題 59] 認知機能の評価法で質問式スケールはどれか。2つ選べ。  
 a CDR  
 b FAST  
 c HDS-R  
 d MMSE

▶高齢者・障害者歯科学

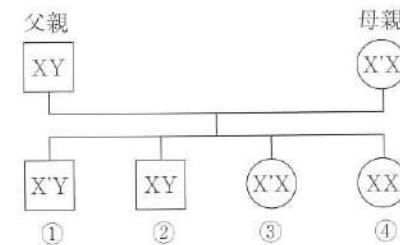
選択肢考察

- × a CDRは観察式スケールの1つで、認知症の重症度を臨床的に判定する評価法である。
- × b FASTは観察式スケールの1つで、アルツハイマー型認知症の評価尺度である。ADLを総合的に評価し、アルツハイマー型認知症の重症度を判定する。
- c HDS-Rは質問式スケールの1つである。質問式は与えられた形式に沿って対象者に質問を行い、算出された得点から判断する方法である。
- d MMSEは質問式スケールの1つである。

正解 c, d

DH25:P550

[問題 60] デュシェンヌ型筋ジストロフィーにおけるX連鎖遺伝の形式を図に示す。ただし、XはX染色体、YはY染色体、X'は責任遺伝子をもつX染色体、□は男性、○は女性を表す。



発症するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- a、× b 筋ジストロフィーは全身の骨格筋繊維が萎縮、変性する進行性の疾患であり、デュシェンヌ型が約半数を占める。デュシェンヌ型筋ジストロフィーは約2/3はX連鎖潜性(劣性)遺伝で、約1/3は突然変異により発症するが、原則的には男性のみにみられる疾患である。①の男性は責任遺伝子をもつX染色体(X')を保有しており発症する。父親や②の男性は健常者である。
- × c、× d 母親や③の女性はX'を保有している保因者であるが、発症はしない。④の女性は健常者である。

正解 a

DH25:P518

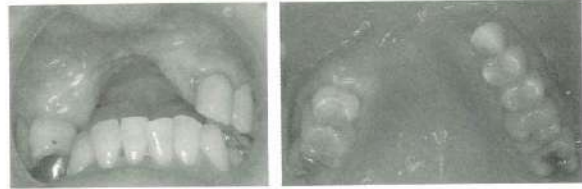
【問題 61】 上顎腫瘍切除術後の口腔内写真(別冊午前 No.18 A)、補綴装置の写真(別冊午前 No.18 B)及び装着時の口腔内写真(別冊午前 No.18 C)を別に示す。

この装置によって改善されるのはどれか。2つ選べ。

- a 構音
- b 味覚
- c 唾液分泌量
- d 口唇の豊隆度

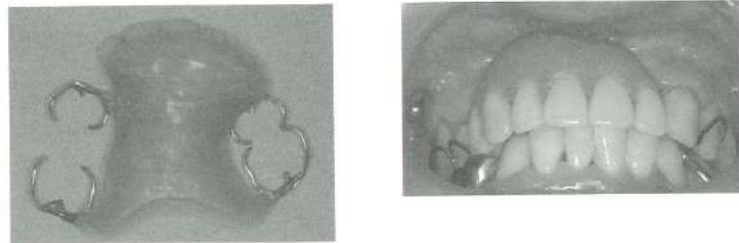
▶高齢者・障害者歯科学

No.18 A



B

C



選択肢考察

- a 写真の補綴装置は顎義歯である。顎義歯の床と人工歯により空気の流れを変化させて、構音機能が改善される。
- × b、× c この顎義歯によって味覚、唾液分泌量は改善しない。
- d 顎義歯の前歯部に厚みのある義歯床が設定されているため、口唇の豊隆度(リップサポート)は改善される。

正解 a、d

【問題 62】 障害者に関するマーク(別冊午前 No.19)を別に示す。世界共通のシンボルはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶高齢者・障害者歯科学

No.19



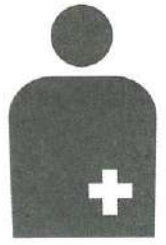
①



②



③



④

選択肢考察

- a ①は障害者のための国際シンボルマークである。障害者が利用できる建物、施設であることを表す世界共通のマークである。
- × b ②は身体障害者標識である。肢体不自由であることを理由に、免許に条件を付されている人が運転する車に表示するマークである。マークを付けた車に幅寄せや割り込みを行うと、道路交通法で罰せられる。
- × c ③はほじょ犬マークである。盲導犬、介助犬、聴導犬などの身体障害者補助犬同伴の啓発のためのマークである。
- × d ④はオストメイトマークである。人工肛門・人口膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表す。

正解 a

【問題 63】 初診患者の口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の腫脹
- b 歯肉の出血
- c フェストゥーン
- d ステップリング

▶歯科予防処置

選択肢考察

- a、○ b 歯間乳頭部に歯肉腫脹と出血が認められる。
- × c フェストゥーンは辺縁歯肉がロール状に肥厚したもので、咬合性外傷に関連して生じる。
- × d ステップリングは健康歯肉にみられる構造物である。

正解 a、b

DH 25:P601

No.20



【問題 64】 歯の生理的動揺はどれか。1つ選べ。

- a 0.1 mm 以内
- b 0.2 mm 以内
- c 1.0 mm 以内
- d 2.0 mm 以内

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

○ b 生理的動揺は健康的な歯周組織における動揺で、歯根膜の厚さとされる約 0.2mm の範囲内である。

正解 b

DH 25:P605

【問題 65】 OHI の評価結果を表に示す。

上	唇頰側	DS	3	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	2
		CS	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
顎	口蓋側	DS	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1
		CS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯種			7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
			7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7
下	舌側	DS	3	3	2	2	1	1	2	1	1	0	1	1	1	2
		CS	1	2	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	2	1
顎	唇頰側	DS	1	1	1	0	0	1	1	3	0	0	0	1	1	2
		CS	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

DS : debris score CS : calculus score

OHI-S はどれか。1つ選べ。

- a 2.0
- b 2.5
- c 3.0
- d 3.5

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

○ d OHI-S の検査対象歯は  $\frac{6}{1} \frac{1}{1} \frac{6}{1}$  の頬・唇面、 $\frac{6}{1} \frac{6}{1}$  の舌面である。

OHI-S は DI-S と CI-S の和であり、

OHI-S =  $\frac{\text{プラークスコアの合計}}{\text{被検歯面数}} + \frac{\text{歯石のスコアの合計}}{\text{被検歯面数}}$  で求められる。

$$\begin{aligned} \text{OHI-S} &= (\text{DI-S}) + (\text{CI-S}) \\ &= \frac{2+1+2+1+3+3}{6} + \frac{1+1+1+2+2+2}{6} = \frac{21}{6} = 3.5 \end{aligned}$$

正解 d

DH 25:P684

【問題 66】 0.2% NaF 溶液 10 mL 中のフッ素量はどれか。1つ選べ。

- a 0.9 mg
- b 4.5 mg
- c 9.0 mg
- d 45 mg

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

○ c 0.2% NaF 溶液のフッ化物イオン濃度は 900 ppm (0.09%) である。従って、溶液 10 mL (= 10 g = 10,000 mg) 中のフッ素量 (フッ化物イオン量) は  $10,000 \text{ mg} \times \frac{0.09}{100} = 9.0 \text{ mg}$  と求まる。

正解 c

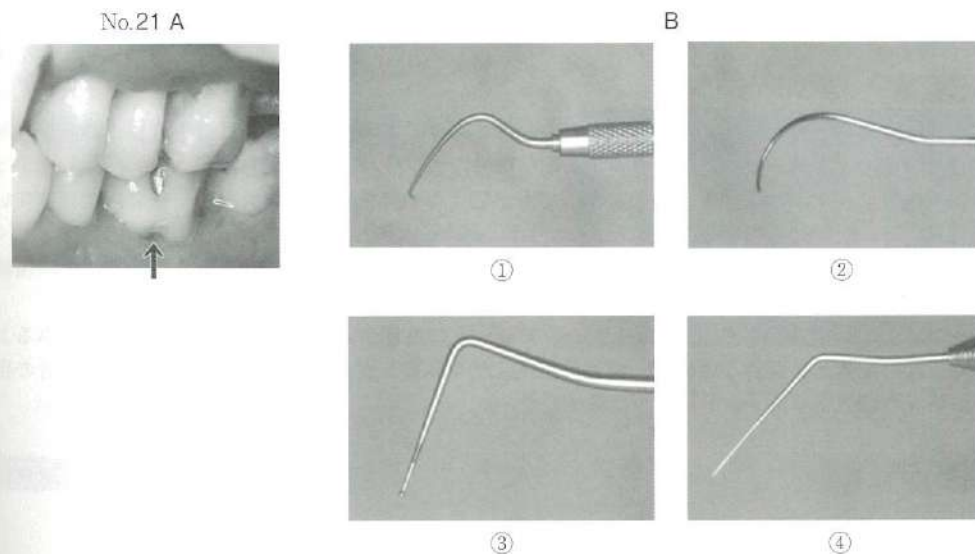
DH 25:P671

【問題 67】 55 歳の男性。上下顎左側臼歯部の咬合時の違和感を主訴として来院した。初診時の口腔内写真 (別冊午前 No.21 A) と検査に用いる器具の写真 (別冊午前 No.21 B) を別に示す。

矢印部の診査に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

- × a ① は有鉤探針である。髓腔開拓時に髓角の残存の有無を診査するために用いられる。
- b ② はファーケーションプローブである。根分岐部病変の診査に用いられる。
- × c ③ は CPI プローブである。CPI 検査時に用いられる。
- × d ④ はスプレッダーである。根管充填時の側方加圧の際に用いられる。

正解 b

DH 25:P607

【問題 68】 我が国におけるフッ化物配合歯磨剤で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 高齢者のう蝕予防に推奨される。
- b 歯みがき後は水で頻回に洗口する。
- c 近年の市場占有率は約70%である。
- d フッ素イオン濃度は0.15%以下である。

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- a フッ化物によるフルオロオパタイト形成は、再石灰化の促進と耐酸性の向上に有用であり、高齢者のう蝕予防にも推奨される。
- × b 歯磨き後に水で頻回に洗口することは避ける。
- × c 我が国におけるフッ化物配合歯磨剤の市場占有率は、2021年には93%を超えている。
- d 歯磨剤のフッ化物の含有量は1,500ppm(0.15%)が上限とされている。

正解 a, d

DH25:P654

【問題 69】 歯周治療の再評価で、メンテナンスとSPTのどちらに移行するかを判定するのに必要な検査項目はどれか。2つ選べ。

- a 歯の動揺度
- b 付着歯肉幅
- c プロービング深さ
- d アタッチメントレベル

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- a 歯周組織が治癒した場合、歯の動揺度は0度であるが、病状安定の場合には1度以上の動揺が残存している場合もあるため、移行の判定基準となる。
- × b 歯周組織に炎症がなく健康な場合であっても、元々の軟組織の解剖学的形態で付着歯肉幅が狭い場合もあるため移行の判定基準とはならない。
- c 病状安定では、プロービング深さ4mm以上のポケットが残存する場合がある。一方、歯周組織が治癒した場合、プロービング深さは3mm以下となる。
- × d アタッチメントレベルはセメント-エナメル境(CEJ)から歯周ポケット底部までの距離である。歯肉辺縁の位置とは関係ないので、歯周治療後、プロービング深さが減少したとしても、付着の獲得がなければアタッチメントレベルは減少しない。

正解 a, c

DH25:P370

## 要点

メンテナンスは、歯周治療により治癒した歯周組織の健康を維持するために行われる。歯周病の治癒とは、歯肉の炎症症状、プロービング時の出血、ポケット、歯の動揺、根分岐部病変がなくなった状態である。一方、SPT(supportive periodontal therapy)は、歯周治療により病状安定となった歯周組織を維持するための治療である。病状安定の場合とはポケットの残存、プロービング時の出血、歯の動揺、根分岐部病変が一部みられるが、歯周病の進行が停止している状態を示す。

【問題 70】 ペリオドンタルメディシンに関わる疾患はどれか。2つ選べ。

- a 肝炎
- b 早産
- c 胃潰瘍
- d 骨粗鬆症

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a、× c 肝炎、胃潰瘍は歯周疾患と関連はない。
- b、○ d ペリオドンタルメディシン(歯周医学)とは、歯周病が全身疾患に及ぼす影響について研究する学問である。歯周病は糖尿病をはじめ、誤嚥性肺炎、アテローム性動脈硬化症、早産・低体重児出産、骨粗鬆症、肥満などと関連がある。

正解 b, d

DH25:P334

【問題 71】 13歳の男子。歯面の着色を主訴として来院した。約1か月前から気になり始め、着色の範囲に大きな変化はないという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.22)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 緑茶
- b 口腔細菌
- c 歯髄の壊死
- d テトラサイクリン

▶ 歯科予防処置

## 選択肢考察

- × a 緑茶による沈着物のステインは褐色である。
- b 歯質に明らかな実質欠損はみられないが、口腔清掃は不良であり歯肉には腫脹を認める。プラークなどに含まれる口腔細菌が原因と考えられる。
- × c 歯髄壊死により歯の変色が生じることがあるが、写真の所見とは異なる。
- × d 歯の形成期のテトラサイクリン内服により全顎的な歯の変色を生じることがあるが、写真の所見とは異なる。

正解 b

要点集 341:P39

No.22



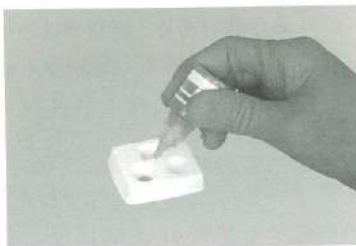
〔問題 72〕 コンポジットレジン系小窩裂溝充填材と併用する材料の写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

この材料で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合面全体を処理する。
- b 処理時間は5分間である。
- c 処理後はうがいをさせる。
- d 30~50%の正リン酸を用いる。

▶ 歯科予防処置

No.23



選択肢考察

- × a 充填する小窩裂溝部を酸処理する。
- × b 処理時間は商品によって異なるが、通常30秒~1分である。
- × c 処理後は水洗し、酸処理剤を洗い流す。
- d コンポジットレジン系小窩裂溝充填材の使用にあたっては、歯面の酸処理が必要となる。酸処理の方法は通常のコンポジットレジン充填と同様である。エナメル質の酸処理では、30~50%の正リン酸を用いる。

正解 d

DH25:P678

〔問題 73〕 プラークリテンションファクターはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b 舌突出癖
- c エナメル突起
- d ブラキシズム

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯石はプラークリテンションファクターに含まれる。
- × b、× d 舌突出癖、ブラキシズムは歯周病のリスクファクターにおいて、宿主因子の中の外傷性因子に含まれる。
- c エナメル突起は歯の解剖学的異常であるため、プラークリテンションファクターに含まれる。

正解 a、c

DH25:P329

〔問題 74〕 78歳の男性。ブラッシング時の上顎前歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。歯科医師からスケーリングを指示された。初診時のスケーリング実施部位の엑스線画像(別冊午前 No.24)を別に示す。

使用するグレーシータイプキュレットはどれか。2つ選べ。

- a #1/2
- b #5/6
- c #7/8
- d #9/10

▶ 歯科予防処置

No.24



選択肢考察

- a #1/2は前歯部の歯面に使用する。
- b #5/6は前歯部および小白歯部のすべての歯面に使用する。
- × c #7/8は臼歯部の頬側面・舌側面に使用する。
- × d #9/10は臼歯部の頬側面・舌側面に使用する。

正解 a、b

DH25:P621

〔問題 75〕 フッ化物歯面塗布後の指導で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 定期的な塗布を勧める。
- b 塗布効果の限界を説明する。
- c 塗布直後のうがいを勧める。
- d 口にたまった唾液を飲み込ませる。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a フッ化物塗布は1回だけでは効果がなく、定期的な塗布が必要である。
- b フッ化物塗布のう蝕予防効果は高いが、確実ではないことは事前に説明しておく。
- × c 歯面上にフッ化物が停滞するように、塗布後30分の洗口や飲食は控える。
- × d 口に溜まった唾液中にはフッ化物が含まれているため、飲まずに吐き出すよう指示する。

正解 a、b

DH25:P660

〔問題 76〕 歯周病のメンテナンスの目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯槽骨の再生
- b 治療後の再発予防
- c 歯周ポケットの除去
- d 新たな発症部位の早期発見

▶ 歯科予防処置

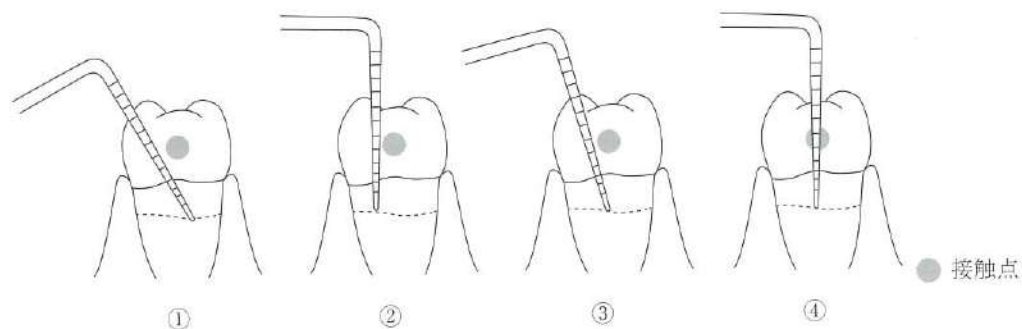
選択肢考察

- × a 歯槽骨の再生は、GTR法やエナメルマトリックスタンパク質(EMD)を用いた歯周組織再生療法によってみられる。
- b、○ d メンテナンスは、歯周治療終了後に歯周疾患が再発することを予防し、健康の増進を目的としている。一般には最初3か月～6か月の間隔で、定期的なりコールを行う。歯周治療後の状態を継続的に診査することで、新たな発症部位を早期発見し、歯周疾患の再発を予防することができる。
- × c 歯周ポケットの除去はフラップ手術や新付着術、歯周ポケット搔爬術などの歯周外科によって行う。

正解 b、d

DH25:P370

〔問題 77〕 隣接面の接触点直下をプローピングする際の模式図を示す。



正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- c 隣接面の接触点(コンタクトポイント)直下をプローピングする際は、接触点を選んでプローブを③のような角度で斜めに挿入し測定する。

正解 c

DH25:P610

〔問題 78〕 口腔がん放射線治療中の患者の周術期の口腔機能管理で、セルフケア指導として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 痛みがあっても含嗽を十分に行う。
- b スポンジブラシで粘膜の清掃を行う。
- c エタノール配合の洗口剤を使用する。
- d ヘッドの小さい軟毛の歯ブラシを使用する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a、× c 放射線治療の副作用による疼痛がある場合は、粘膜に刺激性のあるエタノール配合の洗口剤使用は避ける。
- b、○ d スポンジブラシや軟毛の歯ブラシでセルフケアを行うよう指導する。

正解 b、d

DH25:P768

〔問題 79〕 アウトカム評価はどれか。2つ選べ。

- a 症状の改善
- b 医療費の増減
- c 事業の実施回数
- d 他機関との連携体制

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ b アウトカムは結果(成果)のことで、事業や活動がもたらす本質的なものである。アウトカムはアウトプットによって生じた社会的・環境的な変化であり、疾患量の増減、医療費の増減、症状の改善などがある。
- × c 事業の実施はアウトプット評価である。アウトプットとは出力、生産活動を意味し、事業や活動とその定量的な成果を示している。事業の実施回数、事業量、参加者数などがある。
- × d 他機関との連携体制はストラクチャー評価である。ストラクチャー(構造)は事業を実施するための人員体制、投入予算、施設の状況、他機関との連携体制などの評価指標である。

正解 a、b

DH25:P751

次の文を読み、[問題 80]、[問題 81] に答えよ。

小児が保護者とともに歯科健康診査に訪れた。母子健康手帳の「保護者の記録」の一部を図に示す。

- 自分でコップを持って水を飲みますか。——— はい  いいえ
- 哺乳ビンを使っていますか。——— いいえ  はい
- 食事や間食(おやつ)の時間はだいたい決まっていますか。— はい  いいえ
- 歯の仕上げみがきをしてあげていますか。——— はい  いいえ

[問題 80] この「保護者の記録」に該当する年齢はどれか。1つ選べ。

- a 6~7か月  
b 1歳0か月  
c 1歳6か月  
d 3歳0か月

[問題 81] 上顎乳前歯の唇側歯頸部に歯質の脱灰と一部実質欠損が認められた。「保護者の記録」の記載をふまえ、保護者へ行う歯科保健指導の内容で適切なものを2つ選べ。

- a 歯科医院の受診を勧める。  
b ガーゼによる歯の清拭を指導する。  
c 食事や間食を規則正しくとるよう指導する。  
d 哺乳ビンの使用はお茶の飲用に限りよう指導する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

[問題 80]

- c 自分でコップをもって水を飲むようになるのは1歳6か月頃である。また、哺乳ビンの使用は1歳6か月頃までを目安にすることが望ましい。

[問題 81]

- a 上顎乳前歯は歯蝕患者率の高い部位である。実質欠損の原因として、歯口清掃不良のほか、哺乳ビンの使用や不規則な間食が考えられる。すでに実質欠損がみられることから、歯科医院の受診が必要である。
- × b ガーゼによる歯の清拭では不十分で、1日1回以上の歯磨きの習慣化が必要である。
- c 間食の内容は定かではないが、時間が不規則なため規則正しくとるようにする。
- × d 離乳完了の時期であり、哺乳ビンの使用自体をやめるようにする。

正解 [問題 80] c  
[問題 81] a, c

DH25:P735

[問題 82] 50歳の女性。会社で行われた健康診査の結果を表に示す。

身長 160 cm ① 体重 70 kg ② 腹囲 90 cm  
③ 血圧 140/90 mmHg  
④ コレステロール LDL値 45 mg/dL HDL値 80 mg/dL  
血糖値(空腹時) 80 mg/dL HbA1c 4.0%

メタボリックシンドローム判定の基準値を超えているのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

○ b, c ● メタボリックシンドロームの診断基準

1. 腹部肥満	ウエストサイズ 男性 85cm 以上 女性 90cm 以上
2. 中性脂肪値・ HDL コレステロール値	中性脂肪値 150mg/dL 以上 HDL コレステロール値 40mg/dL 未満 (いずれか、または両方)
3. 血圧	収縮期血圧(最高血圧) 130mmHg 以上 拡張期血圧(最低血圧) 85mmHg 以上 (いずれか、または両方)
4. 血糖値	空腹時血糖値 110mg/dL 以上

正解 b, c

DH25:P723

[問題 83] 歯科保健指導で、問題解決を行う際に適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 問題解決まで方針を変更しない。  
b 複数の問題点には優先順位をつける。  
c 問題解決は歯科衛生士主導で決定する。  
d 得られた情報から問題点を明確にする。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a, ○ b, ○ d 問題が複数ある場合には、その優先順位を決定する。状況の変化に応じて優先する事項も変化する可能性がある。
- × c 歯科保健指導は歯科衛生士が重要な役割を担うが、歯科衛生士主導で決定することではない。

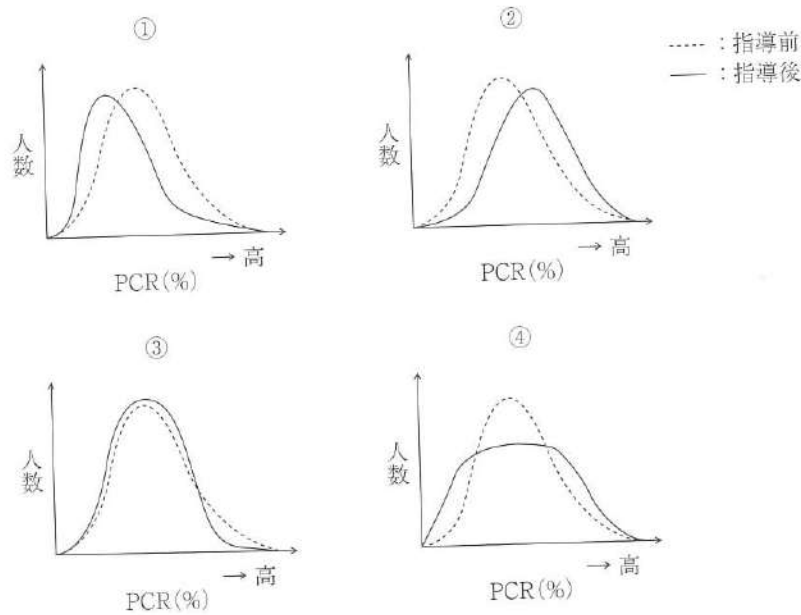
正解 b, d

DH25:P750

要点

歯科衛生過程は、① 歯科衛生アセスメント(情報収集、情報処理)、② 歯科衛生診断(問題の明確化)、③ 歯科衛生計画立案(優先順位の決定、目標の設定、歯科衛生介入方法の決定)、④ 歯科衛生介入(歯科衛生計画の実施)、⑤ 歯科衛生評価(プロセスと結果の評価)の要素で構成される。

[問題 84] ある集団へPCRの改善を目的に歯磨き指導を実施した。PCRの度数分布を指導前は点線で、指導後は実線で示す。



ポピュレーションアプローチの効果があつたのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a ポピュレーションアプローチとは、集団全体を対象とする保健指導をいう。①のように、歯磨き指導の結果PCR値が低い者が増加すれば(グラフが左方移動すれば)、ポピュレーションアプローチの効果があつたといえる。
- × b ②はPCR値の高い者が増加しており、改善された状態ではない。
- × c ③ではPCRが高値の者は減少しているが、ピークはほとんど変わっていないため、改善されたとはいえない。
- × d ④は度数分布のピークが減少しているが、高値の者も増えており改善されたとはいえない。

正解 a

DH25:P747

[問題 85] 改訂BDR指標でDを把握する質問はどれか。1つ選べ。

- a 自分で歯磨きができますか。
- b 口に水を含むことができますか。
- c 自分で入れ歯の着け外しができますか。
- d 洗面所までの移動が1人でできますか。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 「自分で歯磨きができますか。」はBに相当する。
- × b 「口に水を含むことができますか。」はRに相当する。
- c 「自分で入れ歯の着け外しができますか。」はDに相当する。
- × d 「洗面所までの移動が1人でできますか。」はいずれにも該当しない。

正解 c

DH25:P746

要点

改訂BDR指標は、口腔清掃の自立度を評価するための指標で、Bは歯磨き、Dは義歯の着脱、Rはうがいである。

改訂BDR指標

	自立	一部介助	全介助
B 歯磨き (Brushing)	a ほぼ自分で磨く a1 移動して実施する a2 寝床で実施する	b 部分的には自分で磨く b1 座位を保つ b2 座位を保てない	c 自分で磨かない c1 座位、半座位をとる c2 半座位もとれない
D 義歯着脱 (Denture Wearing)	a 自分で着脱する	b 着脱のどちらかができる	c 自分でまったく着脱しない
R うがい (Mouth Rinsing)	a ブクブクうがいをする	b 水を口に含む程度はする	c 水を口に含むこともできない

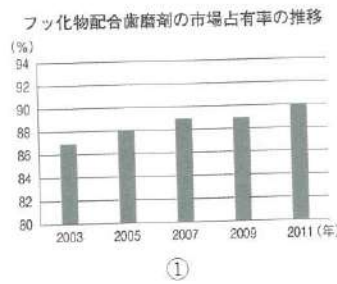
	自立	一部介助	全介助
有効性 (部位到達・操作・時間)	a 清掃具を的確に操作し、口腔内をほぼまんべんなく清掃できる	b 清掃部位への到達や刷掃動作など、一部の清掃行為で有効にできない傾向がある	c 清掃部位への到達や刷掃動作など、多くの清掃行為で有効にできていない
自発性	a 自分から進んで磨く	b いわれれば自分で磨く	c 自発性はない
習慣性	a 毎日清掃する a1 毎食後 a2 1日1回程度	b ととき清掃する b1 週1回以上 b2 週1回以下	c ほとんど清掃していない

【問題 86】 歯科衛生教育活動に用いる媒体(別冊午前 No.25)を別に示す。利用する媒体と対象者の組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

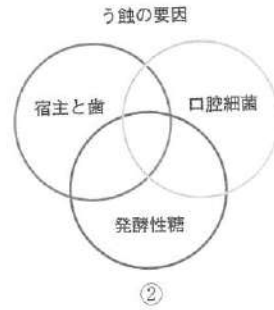
- a ① —— 小学校1年の児童
- b ② —— 保育園児の保護者
- c ③ —— 幼稚園児
- d ④ —— 中学校1年の生徒

No.25

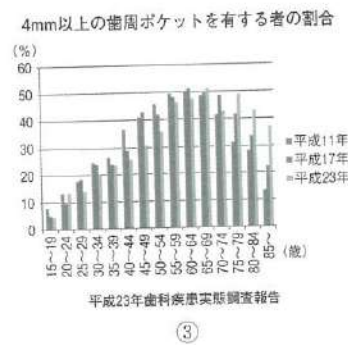
▶ 歯科保健指導



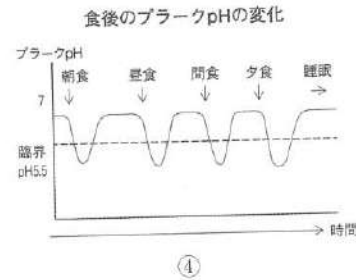
①



②



③



④

選択肢考察

- × a 媒体の効果は保健指導者側の条件、内容、方法に加え、対象者側の条件(年齢、職域)によって左右される。①は棒グラフである。小学校低学年の児童がグラフの意味を理解するのは難しく、その前に市場占有率を説明する意味がわからない。
- b ②はう蝕の要因を示した図である。保護者にわかりやすい図表を用いて説明すると効果的である。
- × c ③は棒グラフである。幼稚園児には理解不能であり、また歯周ポケットとはほぼ無縁である。
- d ④は食後のプラーク内pHの変化を示したグラフである。中学生には理解できる内容である。

正解 b、d

DH25:P731

【問題 87】 83歳の女性。訪問歯科診療の依頼があった。患者は認知症が進行しており、身の回りの世話を家族やヘルパーなどに頼る割合が増えているという。普段は義歯装着時の食事に不自由はなく、家族と一緒に食べることをとても楽しみにしているという。歯科医師より、口腔管理について介護者に指導するよう指示された。初診時の顔貌写真(別冊午前 No.26 A)と口腔内写真(別冊午前 No.26 B)を別に示す。

適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 直ちに義歯の使用を禁止する。
- b 医科主治医へ経管栄養を依頼する。
- c 義歯の管理について介護者に説明する。
- d 義歯の適切な着脱方法を介護者に指導する。

▶ 歯科保健指導

No.26 A



B



選択肢考察

- × a、× b 患者は認知症が進行しているものの、経口摂取が可能で食事を楽しみにしている。今すぐに食形態を変更することや経管栄養を選択することは適切ではない。義歯を使用し、安全に食事ができるように指導する。
- c、○ d 適切な義歯の着脱、管理について介護者に指導することは適切である。

正解 c、d

DH25:P496

【問題 88】 32歳の女性。ある日の食事内容における食事バランスガイドの評価(別冊午前 No.27)と食事の写真(別冊午前 No.28)を別に示す。  
摂取することでバランスが向上するのはどれか。2つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科保健指導

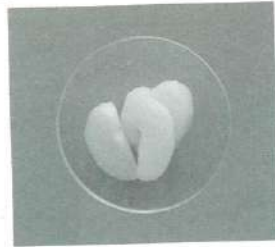
No.27

主食	4つ
副菜	4つ
主菜	5つ
牛乳・乳製品	2つ
果物	3つ

No.28



① 米飯



② 梨



③ 冷奴



④ ひじきの煮物

## 選択肢考察

- a、○ d 表より、対象者の食事は主食と副菜が足りないといえる。従って、主食に該当する ① 米飯と、副菜に該当する ④ ひじきの煮物を摂取するとバランスが向上する。  
× b 梨は果物に該当する。  
× c 冷奴は主菜に該当する。

正解 a, d

DH 25:P728

## 要点

## ● 食事バランスガイドによる料理区分別の摂取の目安

- ・主食(ごはん・パン・麺などの炭水化物の供給源): 5~7つ (SV)
- ・副菜(野菜・いも・豆・海藻などのビタミン、ミネラル、食物繊維の供給源): 5~6つ (SV)
- ・主菜(肉・魚・卵料理・大豆製品などのたんぱく質の供給源): 3~5つ (SV)
- ・牛乳・乳製品: 2つ (SV)
- ・果物: 2つ (SV)

【問題 89】 「授乳・離乳の支援ガイド」に基づいた離乳後期の離乳食の食べさせ方で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 1日2回食に進めていく。  
b 育児用ミルクを増量する。  
c 手づかみ食べは積極的にさせる。  
d 母乳を中止し離乳食のみとする。

▶ 歯科保健指導

## 選択肢考察

- × a 離乳後期は生後9~11か月頃で、離乳食は1日3回にする。食欲に応じて、離乳食の量を増やす。  
× b、× d 母乳は中止せず、離乳食の後に母乳または育児用ミルクを与える。授乳のリズムに沿って、母乳は子どもの欲するままに与える。育児用ミルクは、離乳初期(生後5~6か月頃)には子どもの欲するままに与えるが、離乳後期には1日2回程度与える。  
○ c 手づかみ食べは生後9か月頃から始まる。1歳過ぎの子どもの発育及び発達に重要であるため、積極的にさせたい行動である。

正解 c

DH 25:P566

## 要点

## ● 授乳・離乳の支援ガイド



[問題 90] 60歳の男性。歯肉にやや退縮がみられる。歯科保健指導を行うにあたり歯ブラシを持参してもらった。持参した歯ブラシの写真(別冊午前 No.29 A)および歯ブラシの持ち方の写真(別冊午前 No.29 B)を別に示す。会話を下に示す。

歯科衛生士：毛の硬さはどのようなものを選んでありますか。

患者：「ふつう」を選んでいました。

歯科衛生士：この歯ブラシはどのくらい使っていますか。

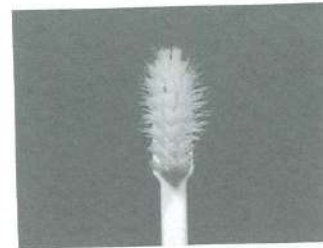
患者：2か月くらいです。

必要な指導はどれか。2つ選べ。

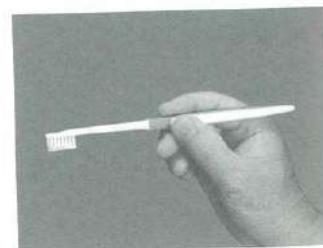
- a ブラッシング圧
- b 歯ブラシの持ち方
- c 歯ブラシの交換時期
- d 歯ブラシの毛の硬さ

▶ 歯科保健指導

No.29 A



B



選択肢考察

- a 歯ブラシの写真から、毛先が開いているのがわかる。歯ブラシの長期使用や強いブラッシング圧により毛先が開く。過度なブラッシング圧により歯肉退縮を生じることがあり、ブラッシング圧について指導する。
- × b 写真でみる限り、歯ブラシの持ち方に問題はない。
- c 歯ブラシは1か月に1回の目安で交換するよう指導する。
- × d 「ふつう」の毛の硬さで問題ない。

正解 a、c

DH 25:P749

[問題 91] 高温高圧水蒸気を利用する滅菌器の写真(別冊午前 No.30)を別に示す。

滅菌温度はどれか。1つ選べ。

- a 45℃
- b 100℃
- c 121℃
- d 180℃

▶ 歯科診療補助

No.30



DH 25:P792

選択肢考察

- × a 45℃は低温プラズマ滅菌の温度である。
- × b 100℃は水が沸騰する温度で煮沸消毒の温度である。
- c 写真は高圧蒸気滅菌器(オートクレーブ)である。通常、2気圧の飽和水蒸気によって温度を121℃に上昇させ、20分間処理することで、対象物の水分を保持したまま、しかも乾熱滅菌より低い温度、短い時間で滅菌を行うことが可能である。
- × d 180℃は乾熱滅菌の温度である。

正解 c

[問題 92] 採得した印象に対してまず行うのはどれか。1つ選べ。

- a 石膏の注入
- b 紫外線の照射
- c 消毒薬への浸漬
- d 流水下での水洗

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 消毒をせずに石膏を注いではならない。
- × b 紫外線消毒を印象体に用いることはない。
- × c 流水下での水洗後には消毒薬への浸漬を必ず行う必要がある。
- d 流水下で粘液およびできる限りの血液を落とす。ただし、勢いのある流水を使用すると、寒天印象材の場合にはちぎれやアルジネート印象材からはがれが起きることがあるため、加減が必要である。

正解 d

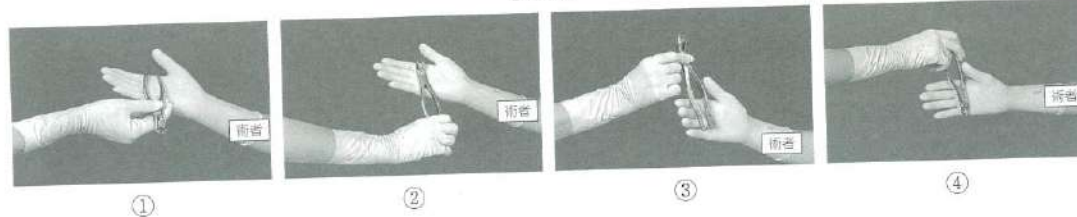
DH 25:P790

[問題 93] 抜歯鉗子の手渡しの状態の写真(別冊午前 No.31)を別に示す。  
正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助

No.31



## 選択肢考察

- a 術者に器具を受け渡す時には、器具を落とすことなく確実に術者に手渡す必要があるため、①のように器具の把持部を術者の手掌中央部に確実に置く。  
× b、× d ②、④は器具の把持部が術者の手掌中央部に置かれていない。  
× c ③は器具の把持部を術者の手掌中央部に置かれているが、安定が悪く適切ではない。

正解 a

DH25:P824

[問題 94] 歯肉圧排用綿糸に浸透させるのはどれか。2つ選べ。

- a 血管収縮薬  
b 血流改善薬  
c 血管拡張薬  
d 血管収斂薬

▶ 歯科診療補助

## 選択肢考察

- a、d 歯肉圧排用綿糸には、薬剤が浸透させてある薬剤添加綿糸と、術前に歯肉圧排用綿糸を薬剤に浸透させるものがある。歯肉圧排用薬剤によく用いられる薬剤としては、血管収縮薬や血管収斂薬がある。歯肉からの出血を防ぐ目的で、血管収縮薬(アドレナリン)や血管収斂薬(塩化アルミニウム)を浸透させる。

正解 a、d

DH25:P816

[問題 95] 42歳の女性。上顎右側側切歯の根尖部腫脹を訴えて来院した。検査の結果、歯根嚢胞と診断され、②に対して歯根端切除術を実施することになった。初診時のエックス線画像(別冊午前 No.32 A)と処置中に使用した器具の写真(別冊午前 No.32 B)を別に示す。  
歯根嚢胞の摘出時に用いるのはどれか。1つ選べ。

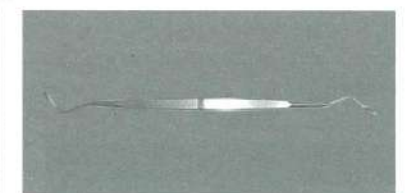
- a ①  
b ②  
c ③  
d ④

▶ 歯科診療補助

No.32 A

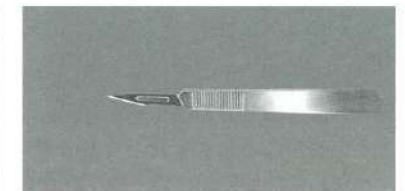
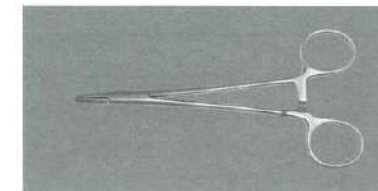


B



①

②



③

④

## 選択肢考察

- × a、× c ①は剪刀(ハサミ)、③は持針器である。縫合に用いる。  
○ b 歯根嚢胞の摘出には骨膜起子や②の鋭匙を用いる。  
× d ④は替刃メスである。粘膜の切開に用いる。

正解 b

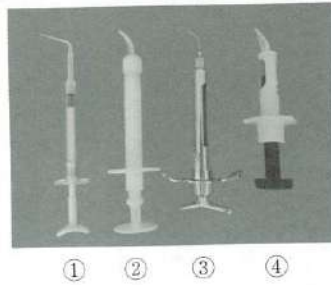
DH25:P827

**[問題 96]** シリンジの写真(別冊午前 No.33)を別に示す。  
寒天印象材を用いて印象採得を行う際に使用するのはいずれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.33



**選択肢考察**

- × a ① は洗浄用のシリンジである。
- × b ② はシリコーン印象材用のプラスチックシリンジである。
- c ③ は寒天印象材カートリッジ用シリンジである。
- × d ④ はCRシリンジである。コンポジットレジンやセメントを高洞に填入する際に用いる。

**正解 c**

DH25:P797

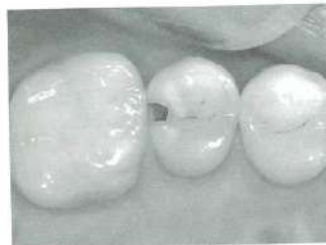
**[問題 97]** 20歳の男性。上顎右側第二小臼歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。6か月前から気付いていたが、強い痛みがないためそのままにしていたという。コンポジットレジン修復が行われることになった。う蝕罹患歯質を除去するにあたり、歯科医師より即時歯間分離の指示があった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

使用するのはいずれか。1つ選べ。

- a ウッドウェッジ
- b リング状リテーナー
- c アイボリーのセパレーター
- d トップルマイヤーのリテーナー

▶ 歯科診療補助

No.34



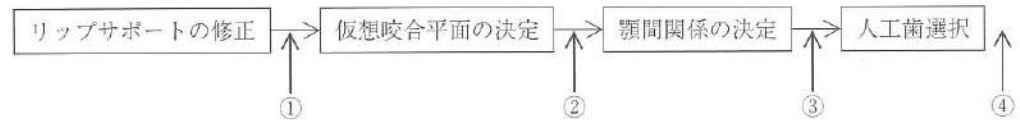
DH25:P815

**選択肢考察**

- a ウッドウェッジはプレウェッジテクニックに用いる。また、歯間分離や隔壁の固定にも用いる。
- × b リング状リテーナーは2級窩洞の隔壁に用いる。
- × c アイボリーのセパレーターは前歯部の歯間分離に用いる。
- × d トップルマイヤーのリテーナーはマトリックスバンドとともに2級窩洞の隔壁に用いられる。

**正解 a**

**[問題 98]** 85歳の男性。上下顎全部床義歯の製作を希望して来院した。ある操作の写真(別冊午前 No.35)を別に示す。咬合採得時の治療過程を以下に示す。



この操作を行うのはいずれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.35



- c 写真の操作は標示線の記入で、③の段階で行う。
- 全部床義歯治療における咬合採得時の臨床操作
  - ・上顎咬合床唇側側面の豊隆度(リップサポート)の修正
  - ・仮想咬合平面の決定
  - ・垂直的/水平的顎間関係の記録
  - ・標示線の記入
  - ・フェイスボウトランスファー(行わないこともある)
  - ・人工歯選択

**正解 c**

DH25:P382

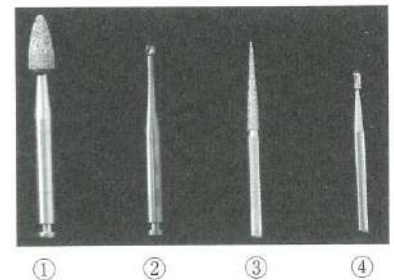
**[問題 99]** 歯科医師から支台歯形成の準備を行うよう指示があった。回転切削器具の写真(別冊午前 No.36)を別に示す。

使用するのはいずれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.36



**選択肢考察**

- × a ① はカーボランダムポイントである。主に歯科技工用として用いる。
- × b ② はスチール製のラウンドバーである。主に軟化象牙質の除去に用いる。
- c ③ は槍状のダイヤモンドポイントである。主に支台歯形成に用いる。
- × d ④ はタングステンカーバイドバーである。主に修復物や補綴装置の除去に用いる。

**正解 c**

DH25:P819

[問題 100] 頭部エックス線規格写真で規格化するのはどれか。2つ選べ。

- a 拡大率
- b 撮影時間
- c 撮影方向
- d 被曝線量

▶ 歯科診療補助

## 選択肢考察

- a、c 頭部エックス線規格写真は、エックス線管球、頭部およびフィルムの方向と距離を一定に保って撮影することで、患者の頭部について定量的な評価が可能となる。従って拡大率と撮影方向は規格化されている。焦点-正中矢状面間距離を 150cm、焦点-フィルム間距離を 165cm とするため、正中矢状面の構造物は 1.1 倍の拡大率となる。

正解 a、c

DH 25:P 450

[問題 101] フラップ手術に使用する器具の写真(別冊午前 No.37)を別に示す。

歯槽骨の形態修正に使用する器具はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

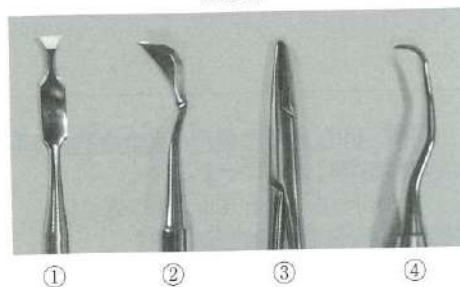
## 選択肢考察

- a ① は骨ノミ(チゼル)で、歯槽骨の形態修正などに用いる。  
 × b ② はカーランドメスで、歯肉の切開に用いる。  
 × c ③ は持針器で、歯肉弁の縫合に用いる。  
 × d ④ はグレーシー型キュレットで、スケーリング・ルートプレーニングに用いる。

正解 a

DH 25:P 828

No.37



[問題 102] 障害児の歯科治療における行動調整法と障害の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a カウント法 ————— 視覚障害
- b フラッディング法 ————— 自閉スペクトラム症
- c トークンエコノミー法 ————— コミュニケーション障害
- d ハンドオーバーマウス法 ————— 知的障害

▶ 歯科診療補助

## 選択肢考察

- a カウント法は術者が数字を数えながら、治療を中断する、または終える見通しを立たせる方法である。聴覚を利用するため、視覚障害児に有効である。  
 × b フラッディング法は最も強い不安刺激に曝露させ、未経験の恐怖から解放させる方法である。自閉スペクトラム症児に用いることで自傷行為を誘発するおそれがある。  
 × c トークンエコノミー法は好ましい行動がなされた際に正の強化因子として報酬を与えることで適応行動を強化する方法である。コミュニケーション障害児には有効とはいえない。  
 × d ハンドオーバーマウス法は泣き叫ぶ患児の口を押さえ術者の話を聞ける状態とする方法である。意思疎通が可能でない知的障害児には有効でない。

正解 a

DH 25:P 870

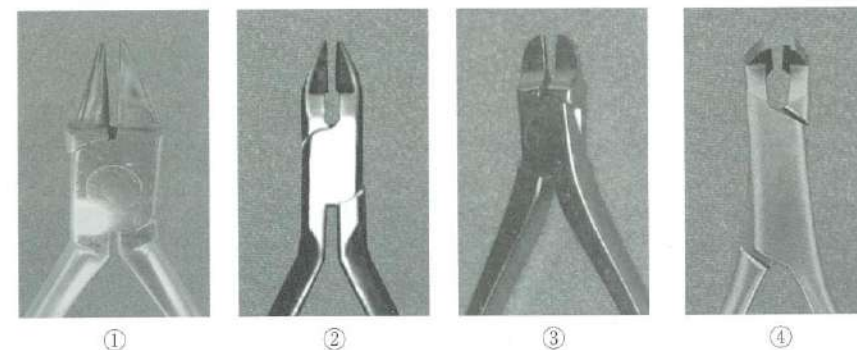
[問題 103] 矯正歯科治療に使用する器具の写真(別冊午前 No.38)を別に示す。

口腔内でアーチワイヤー末端の切断に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.38



## 選択肢考察

- × a ① はバードビークプライヤーで、先端の形状は一方が円錐形、他方が角錐形になっている。丸線の屈曲に用いる。  
 × b ② はピンアンドリガチャーカッターで、結紮線の切断に用いる。  
 × c ③ はツイードアーチベンディングプライヤーで、角線のアーチワイヤーへのトルクの付与や屈曲に用いる。  
 ○ d ④ はディスタルエンドカッターで、バックルチューブの遠心端から突き出たアーチワイヤー末端を、口腔内で切断するのに用いる。

正解 d

DH 25:P 877

【問題 104】 34歳の女性。下顎右側第一大臼歯のクラウン破折による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、CAD/CAMシステムによるクラウンを製作することになった。口腔内スキャナーを使用し、光学印象採得を行って得られた画像(別冊午前 No.39)を別に示す。

従来の精密印象採得法と比較してこの方法で省略できるのはどれか。1つ選べ。

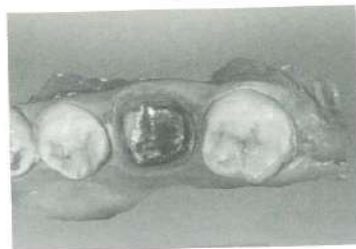
- a 感染対策
- b 咬合採得
- c シェードテイキング
- d 口腔内のブロックアウト

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 口腔内スキャナーによる光学印象採得は印象材や石膏模型が不要なため、感染防止に役立つ。しかし、スキャナーの先端は口腔内に挿入するため、感染対策を省略することはできない。
- × b 咬合採得材は使用しないが、咬合採得を省略することはできない。咬合した状態の歯列を頬側からスキャンし、咬合採得を行う。
- × c シェードテイキングは省略できない。従来の方法のようにシェードガイドを用いて口腔内の目視やカメラ撮影で行う方法と、口腔内スキャナーで取り込んだデータ上で色調選択をする方法がある。
- d 従来の方法では印象体の撤去を容易にするため、印象採得の前に口腔内のアンダーカットをブロックアウトするが、光学印象採得では印象材を使用しないため、ブロックアウトは省略できる。

No.39



正解 d

DH 25:P 403

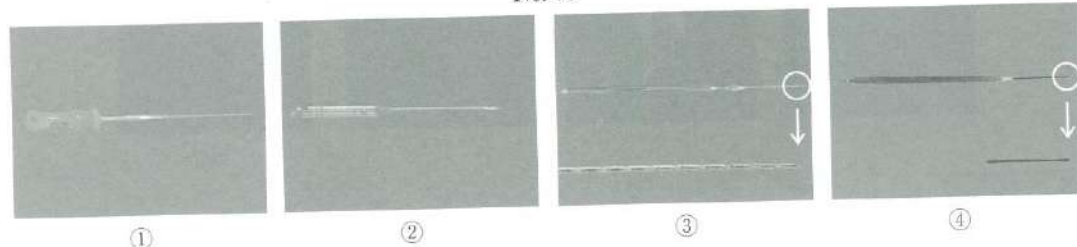
【問題 105】 直接抜髄法に使用する器具の写真(別冊午前 No.40)を別に示す。

根管内歯髄の除去に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.40



選択肢考察

- a ① はリーマーである。根管内歯髄の除去や根管の拡大、形成に使用する。
- × b ② はゲーツグリンドリルである。根管口の漏斗状拡大に用いる。
- c ③ は抜髄針(クレンザー)である。根管歯髄の除去に用いる。
- × d ④ は消息子(ゾンデ)である。外科用器具であり、組織内に挿入して病変の位置や深さ、広がりを確認する際に用いる。

正解 a, c

DH 25:P 821

【問題 106】 脳血管疾患の後遺症で舌の運動障害が生じた患者に行ったリハビリテーションの写真(別冊午前 No.41 A, B)を別に示す。

用いたアプローチはどれか。1つ選べ。

- a 心理的アプローチ
- b 代償的アプローチ
- c 治療的アプローチ
- d 環境改善的アプローチ

▶ 歯科診療補助

No.41 A



B



選択肢考察

- × a 患者を心理的にサポートするアプローチを、心理的アプローチという。
- × b 後遺症があっても安全で快適な代替法で生活が送れるように指導することを、代償的アプローチという。残存機能の活用や補助具の使用、食形態の変更、食事姿勢の調整などが該当する。
- c 写真は舌訓練である。舌筋を刺激し筋力の獲得・維持・回復、可動域の拡大などを図ることを目的としている。リハビリテーションにおいて、口腔周囲筋の強化訓練は治療的アプローチに該当する。
- × d 患者を取り巻く環境を改善するアプローチを、環境改善的アプローチという。

正解 c

DH 25:P 576

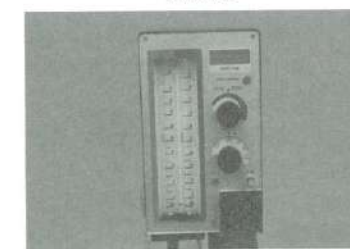
【問題 107】 歯科治療恐怖症患者の歯科治療時に用いる機器の写真(別冊午前 No.42)を別に示す。

この機器を用いて投与するのはどれか。2つ選べ。

- a 酸素
- b 窒素
- c 亜酸化窒素
- d 一酸化窒素

▶ 歯科診療補助

No.42



選択肢考察

- a, c 写真は流量計である。歯科治療に対する不安や恐怖を軽減させるために笑気吸入鎮静法を用いることがある。30%亜酸化窒素(笑気)と70%酸素の混合ガスを吸入させる。笑気は灰色または灰色と一部青色のボンベ、酸素は黒色のボンベに充填されている。

正解 a, c

DH 25:P 431

[問題 108] 成人に対する一次救命処置(BLS)において、胸骨圧迫と人工呼吸の回数比で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 5:2
- b 10:2
- c 15:2
- d 30:2

▶ 歯科診療補助

## 選択肢考察

○ d 成人に対する一次救命処置(BLS)において、胸骨圧迫と人工呼吸の回数比は30:2である。なお、救助者が2名以上の場合においてもこの回数比は変化しない。

正解 d

DH 25:P 856

[問題 109] 88歳の女性。食事がうまく飲み込めなくなったと家族から歯科訪問診療の依頼があった。上下顎全部床義歯を使用しているが、義歯の適合と咬合状態に問題はみられなかった。歯科医師より検査に用いる器具の準備を指示された。検査時の写真(別冊午前 No.43 A)と器具の写真(別冊午前 No.43 B)を別に示す。

この検査で評価するのはどれか。1つ選べ。

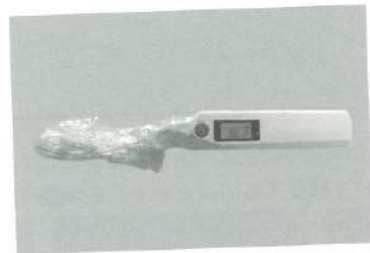
- a 舌圧
- b 粘膜湿潤度
- c 口腔衛生状態
- d 舌口唇運動機能

▶ 歯科診療補助

No.43 A



B



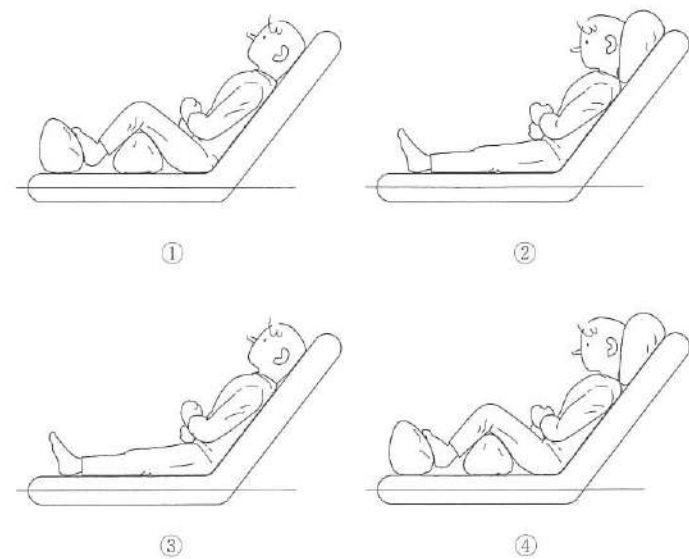
## 選択肢考察

- × a 舌圧検査は舌圧測定器を用いて評価する。
- b 義歯に問題はないため、口腔機能低下症が疑われる。口腔機能低下症は7つの下位症状(口腔衛生状態不良、口腔乾燥、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下、舌口唇運動機能低下、咬合力低下)のうち3項目以上該当する場合に診断される。写真は口腔水分計(ムーカス)を用いた粘膜湿潤度検査である。
- × c 口腔衛生状態の検査は、視診により Tongue Coating Index(TCI)を用いて舌苔の付着程度を評価する。
- × d 舌口唇運動機能はオーラルディアドコキネシスにより評価する。

正解 b

DH 25:P 548

[問題 110] ベッド上での食事の姿勢を図に示す。



安全な摂食姿勢はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

## 選択肢考察

- × a ①は下肢の固定は適切であるが、頭部の固定ができていない。
- × b ②は頭部の固定は適切であるが、下肢の固定ができていない。
- × c ③は全身の固定ができていない。
- d 体幹保持が困難な患者には、クッションやテーブルで体幹を固定する。頭部の固定は首の後ろにクッションを入れ、頭部を前屈気味にする。下肢の固定では、膝下にクッションを入れ90度に曲げる。さらに足下にクッションを置き、しっかり固定する。④は頭部および下肢の固定が適切である。

正解 d

DH 25:P 575